

文書課長

海軍省明治三十九年度年報

司法省記録文庫
第三十五号一號

司法省
第六五號
寄贈圖書文庫

司法省文庫第一三九

H600
K 1
1 32

3
9
10⁴_m
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10⁴_m
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10⁴_m
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10⁴_m
1
2
3
4
5
6
7
8
9

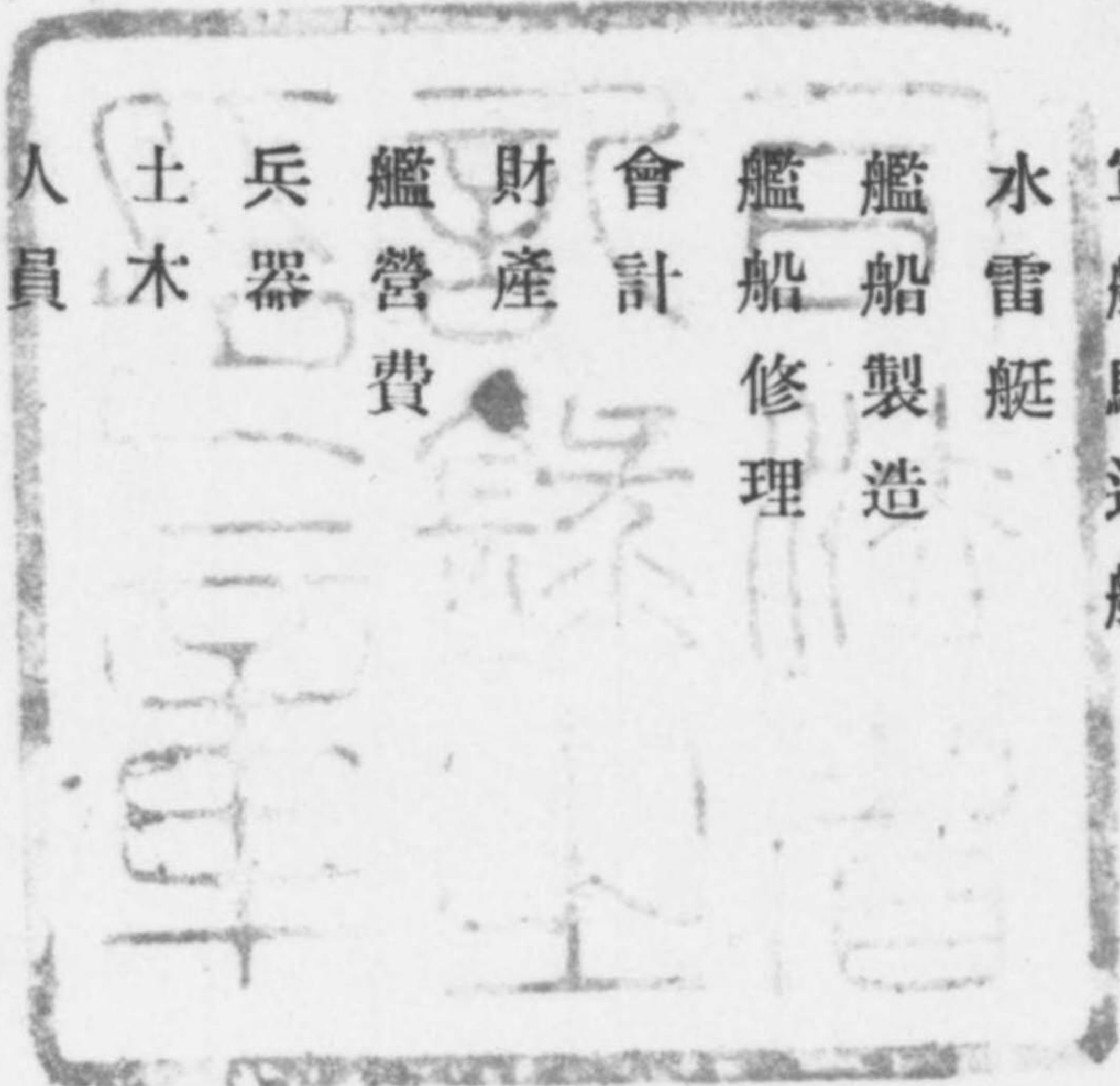
全	全	全	表百三十九年	百三十六	頁
全	平	全	均	中	行
			加前年度ノ段増	現在金額ノ段	誤
一四五	三九一	四六五	二〇八	四十六	誤
一六五	三一	六六五	四〇八	六十六	正

海軍省明治三十九年度年報

目次

第一 第二 第三 第四 第五 第六 第七 第八 第九 第十 第十一

軍艦、驅逐艦
水雷艇
艦船製造
艦船修理
會計
財產
艦營費
兵器
土木
人員
徵募



一 九 十 二 三 四 五 七 七 七 五 四 三 二 一
丁 丁 丁 丁 丁 丁 丁 丁 丁 丁 丁 丁 丁 丁
百二十七

目次

一

H600
K I
/ 32

海軍省明治三十九年度年報

第一 軍艦、驅逐艦

帝國軍艦驅逐艦ノ總數ハ本年度末即チ明治四十年三月三十一日ヲ以テ調査スレハ百二十隻ニシテ此噸數四十五萬千六百四十八噸トス之ヲ前年度末總數ニ比照スレハ隻數ニ於テ十四噸數ニ於テ四萬千三百五十四ヲ増加セリ是レ本年度ニ於テハ天龍ヲ帝國軍艦籍ヨリ除カレタルモ薩摩、生駒、伏見、朝露、白雪、初春、疾風、三日月、野分、白妙、夕風、卯月、水無月、長月、松風ノ十五隻進水シタルニ因ル其他製造中ニアルモノハ戰艦一隻一等巡洋艦二隻二等巡洋艦一隻通報艦二隻驅逐艦一隻通計七隻ニシテ此噸數五萬六千八十一噸トス其詳細ハ左表ニ舉示スルカ如シ

軍艦、驅逐艦總數 明治四十年三月三十一日調

艦名	艦種等級	製造場所	進水年月日	船材	排水量	馬力
薩摩	戰艦	橫須賀	明治卅九年十一月十五日	鋼	一九三五〇	一七三〇〇
鹿島	戰艦	英國	全 卅八年三月廿二日	全	一六四〇〇	一五六〇〇
香取	戰艦	英國	全 卅八年七月四日	全	一五九五〇	一六〇〇〇

第一 軍艦、驅逐艦

目次

第十二	恩給	百三十五丁
第十三	教育	百四十三丁
第十四	患者	百七十五丁
第十五	刑罰	百九十九丁
第十六	監獄	二百二十九丁

二

三朝	朝日	敷島	石見	肥前	相模	周防	富士	丹波	筑波	生駒	淺間	常磐	出雲	磐手	八雲	吾妻	阿蘇	春日	日進	
戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦	戰艦
英國	英國	英國	英國	英國	英國	英國	英國	英國	英國	英國	英國	英國	英國	英國	英國	英國	英國	英國	英國	英國
明治三十三年十一月八日	明治三十三年三月十三日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日	明治三十一年十一月一日
鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼
一五、三〇七	一四、七六五	一四、五八〇	一三、五一六	一二、七〇〇	一二、六七四	一二、六七四	一二、六四九	一〇、九六〇	一三、七五〇	一三、七五〇	一三、七五〇	一三、七五〇	一三、七五〇	一三、七五〇	一三、七五〇	一三、七五〇	一三、七五〇	一三、七五〇	一三、七五〇	一三、七五〇
一五、二〇七	一五、二〇七	一四、七〇〇	一六、五〇〇	一六、〇〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一三、六七八	一〇、〇〇〇	二〇、五〇〇	二〇、五〇〇	二〇、五〇〇	二〇、五〇〇	二〇、五〇〇	二〇、五〇〇	二〇、五〇〇	二〇、五〇〇	二〇、五〇〇	二〇、五〇〇	二〇、五〇〇	二〇、五〇〇

津宗	笠千	嚴松	橋浪	高浪	新對	秋馬	音洲	和羽	明泉	須石	千磨	壹田	鎮岐	見遠	島島	沖島	扶桑
二等巡洋艦	二等巡洋艦	二等巡洋艦	二等巡洋艦	二等巡洋艦	三等巡洋艦	二等巡洋艦	二等巡洋艦	二等巡洋艦	二等巡洋艦	二等巡洋艦	二等巡洋艦	一等海防艦	一等海防艦	二等海防艦	二等海防艦	二等海防艦	二等海防艦
不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳
全卅二年	全卅二年	全卅二年	全卅二年	全卅二年	全卅二年	全卅二年	全卅二年	全卅二年	全卅二年	全卅二年	全卅二年	全卅二年	全卅二年	全卅二年	全卅二年	全卅二年	全卅二年
全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日	全卅二年一月廿日
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
六、六三〇	六、五〇〇	五、五〇三	四、九九二	四、二七八	四、二七八	四、二七八	四、二七八	四、二七八	四、二七八	四、二七八	四、二七八	四、二七八	四、二七八	四、二七八	四、二七八	四、二七八	四、二七八
一、一六〇	二、〇〇〇	一、七三三	一、五七一	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇

艦名	艦種等級	製造場所	進水年月日	船材	排水量	馬力
曙電	全	英國	全	全	三三五	六〇〇〇
雷霞	全	英國	全	全	三三五	六〇〇〇
朝白	全	英國	全	全	三三五	六〇〇〇
白松	全	英國	全	全	三三五	六〇〇〇
長水	全	英國	全	全	三三五	六〇〇〇
卯月	全	英國	全	全	三三五	六〇〇〇
夕白	全	英國	全	全	三三五	六〇〇〇
野分	全	英國	全	全	三三五	六〇〇〇
三疾	全	英國	全	全	三三五	六〇〇〇
初春	全	英國	全	全	三三五	六〇〇〇
白露	全	英國	全	全	三三五	六〇〇〇
朝霧	全	英國	全	全	三三五	六〇〇〇
響立	全	英國	全	全	三三五	六〇〇〇
夕立	全	英國	全	全	三三五	六〇〇〇

(備考) 本表各艦ノ噸數馬力ノ前年ト差異アルハ本年ニ於テ修正シタルニ由ル

製造中

名	艦種等級	製造場所	船材	排水量	馬力
文泉	全	全	全	三三五	六〇〇〇
皋卷	全	全	全	三三五	六〇〇〇
敷波	全	全	全	三三五	六〇〇〇
山彦	全	全	全	三三五	六〇〇〇
薄雲	全	全	全	三三五	六〇〇〇
陽炎	全	全	全	三三五	六〇〇〇
不夕	全	全	全	三三五	六〇〇〇
東霧	全	全	全	三三五	六〇〇〇
叢雲	全	全	全	三三五	六〇〇〇
隴雲	全	全	全	三三五	六〇〇〇
漣雲	全	全	全	三三五	六〇〇〇
總計	百二十隻	全	全	四五一、六四八	九四二、〇四二

第一 軍艦、驅逐艦

名	號	艦種等級	製造場所	船材	排水量	馬力
第一號裝甲巡洋艦		一等巡洋艦	吳	鋼	一四六〇〇	二四〇〇〇
甲號二等巡洋艦		二等巡洋艦	佐世保	鋼	一〇〇〇〇	一五〇〇〇
第一號通報艦		通報艦	川崎造船所	鋼	一三三〇〇	六五〇〇
第二號通報艦		通報艦	三菱造船所	鋼	一三五〇〇	八〇〇〇
菊	月	驅逐艦	浦賀船渠會社	鋼	三八一	六〇〇〇
總計	七隻				五六〇八一	一〇六〇〇〇

八

前面軍艦驅逐艦百二十隻、ニ就キ最近十年ノ統計ヲ對觀スレハ左ノ如シ

年度末	隻數	排水量	馬力	前年ニ比較	
				隻數排水量	馬力
三十九年	一一〇	四五、六四八	九四、一〇四二	一四増	一三一、六九〇
三十八年	一〇六	四一、〇、二九四	八〇、三五二	二五増	一一九、六三七
三十七年	八一	二九、〇、六五七	五七、二、六四〇	三増	一七、五〇〇
三十六年	七八	二七、三、五〇七	五五、五、〇四〇	二増	一五、六九六
三十五年	八〇	二五、七、八一	五〇、三、八七五	六増	八、四七七
三十四年	七四	二四、九、三三四	四六、六、〇七五	三増	一、二九
三十三年	七一	二四、八、二〇五	四四、六、〇七五	一四増	二〇、二七〇
三十二年	五七	二二、七、九三五	三五、六、六七五	五増	五、三、四、五三
三十一年	五二	一七、四、四八二	二八、一、九二五	二増	三、九、四、八四
三十年	五〇	一三、四、九九八	二二、四、六三九	七増	三、二、一、一五

第二 水雷艇

水雷艇ノ總數ハ明治四十年三月三十一日ノ調査ニ依レハ七十八隻ニシテ此噸數七千三百十二噸トス之ヲ前年度末總數ニ對照スレハ敢テ異ナルナシ但噸數ニ於テ異動スル所アルハ各艇ノ中ニ於テ修正シタルコトアルニ由ル即チ詳左ニ表示スルカ如シ

水雷艇

明治四十年三月三十一日調

名	號	等級	船材	長	排水量	馬力
小	鷹	一等	鋼	一六六・〇〇	二〇三	一一、二一七
雉				一四七・六四	一五二	三、六〇〇
鴻				一四七・六四	一五二	三、六〇〇
鴈				一四七・六四	一五二	三、六〇〇
隼				一四七・六四	一五二	三、六〇〇
鵠				一四七・六四	一五二	三、六〇〇
真				一四七・六四	一五二	三、六〇〇
千				一四七・六四	一五二	三、六〇〇
雁	鳥鶴			一四七・六四	一五二	三、六〇〇

第二 水雷艇

九

第三 艦船製造

明治三十九年度ニ於テ軍艦ノ落成シタルモノハ英國ニ於テ製造ノ鹿島香
取隅田伏見吳海軍工廠ニ於テ製造ノ筑波ノ五隻ニシテ鹿島ハ三十七年二
月香取ハ同四月筑波ハ三十八年一月隅田ハ三十六年十一月伏見ハ三十九
年三月ヲ以テ起工シ驅逐艦ノ落成シタルモノハ海軍部内外各工場ニ於テ
製造ノ朝風以下十九隻ニシテ朝風ハ三十七年十二月白露春風ハ三十八年
二月白雪夕暮夕立白妙ハ同年三月時雨朝露三日月ハ同年六月追風野分ハ
同年八月松風響初雪ハ同年九月初春ハ同年十一月夕風ハ三十九年一月水
無月ハ同年二月卯月ハ同年三月ヲ以テ各起工セリ其艦裝中ニアルモノハ
横須賀海軍工廠ニ於テ製造ノ戰艦薩摩吳海軍工廠ニ於テ製造ノ一等巡洋
艦生駒浦賀船渠會社ニ於テ製造ノ驅逐艦長月ノ三隻トス其製造中ニアル
モノハ吳海軍工廠ニ於テスル甲號戰艦第一號裝甲巡洋艦横須賀海軍工廠
ニ於テスル寅號裝甲巡洋艦佐世保海軍工廠ニ於テスル甲號二等巡洋艦川
崎造船所ニ於テスル第一號通報艦三菱造船所ニ於テスル第二號通報艦浦
賀船渠會社ニ於テスル驅逐艦菊月ノ七隻トス
以上叙述シタル所ヲ總括シテ表示スレハ左ノ如シ

別區	艦名	艦種	船材	計	製造所	進水年月日	落成年月日
鹿島	鹿島	戰艦	鋼	排水量 一六、四〇〇 長 四二・五・〇 幅 七八・一・〇	英國	卅八年三月廿二日	卅九年五月廿三日
香取	香取	戰艦	鋼	排水量 一五、九五〇 長 四二・〇・〇 幅 七八・〇・〇	英國	全年七月四日	全年一月二十日
筑波	筑波	一等巡洋艦	鋼	排水量 一三、七五〇 長 四四・〇・〇 幅 七五・〇・〇	英國	卅六年十二月廿六日	四十年一月十四日
隅田	隅田	二等砲艦	鋼	排水量 一、二六〇 長 一四・五・〇 幅 二四・〇・〇	英國	卅九年八月八日	卅九年四月十七日
伏見	伏見	驅逐艦	鋼	排水量 一、八〇〇 長 一六・〇・〇 幅 二四・六・〇	英國	卅九年十月廿八日	全年四月一日
朝風	朝風	驅逐艦	鋼	排水量 一、八〇〇 長 一六・〇・〇 幅 二四・六・〇	英國	卅八年十月廿八日	全年四月一日
春風	春風	驅逐艦	鋼	排水量 一、八〇〇 長 一六・〇・〇 幅 二四・六・〇	英國	卅九年三月八日	全年五月十四日
初雪	初雪	驅逐艦	鋼	排水量 一、八〇〇 長 一六・〇・〇 幅 二四・六・〇	英國	卅九年三月八日	全年五月十四日
夕暮	夕暮	驅逐艦	鋼	排水量 一、八〇〇 長 一六・〇・〇 幅 二四・六・〇	英國	卅九年三月八日	全年五月十四日
時雨	時雨	驅逐艦	鋼	排水量 一、八〇〇 長 一六・〇・〇 幅 二四・六・〇	英國	卅九年三月八日	全年五月十四日
夕立	夕立	驅逐艦	鋼	排水量 一、八〇〇 長 一六・〇・〇 幅 二四・六・〇	英國	卅九年三月八日	全年五月十四日
白露	白露	驅逐艦	鋼	排水量 一、八〇〇 長 一六・〇・〇 幅 二四・六・〇	英國	卅九年三月八日	全年五月十四日
三響	三響	驅逐艦	鋼	排水量 一、八〇〇 長 一六・〇・〇 幅 二四・六・〇	英國	卅九年三月八日	全年五月十四日
響	響	驅逐艦	鋼	排水量 一、八〇〇 長 一六・〇・〇 幅 二四・六・〇	英國	卅九年三月八日	全年五月十四日
白雲	白雲	驅逐艦	鋼	排水量 一、八〇〇 長 一六・〇・〇 幅 二四・六・〇	英國	卅九年三月八日	全年五月十四日
朝日	朝日	驅逐艦	鋼	排水量 一、八〇〇 長 一六・〇・〇 幅 二四・六・〇	英國	卅九年三月八日	全年五月十四日
野分	野分	驅逐艦	鋼	排水量 一、八〇〇 長 一六・〇・〇 幅 二四・六・〇	英國	卅九年三月八日	全年五月十四日

成	中裝艦	製	造	中
夕風	薩摩	甲號	巡洋艦	甲號
白妙	薩摩	甲號	巡洋艦	甲號
水春	薩摩	甲號	巡洋艦	甲號
初月	薩摩	甲號	巡洋艦	甲號
卯春	薩摩	甲號	巡洋艦	甲號
松風	薩摩	甲號	巡洋艦	甲號
長月	薩摩	甲號	巡洋艦	甲號
生駒	薩摩	甲號	巡洋艦	甲號
薩摩	薩摩	甲號	巡洋艦	甲號
驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦
全	全	全	全	全
三八一	三八一	三八一	三八一	三八一
二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇
二二六	二二六	二二六	二二六	二二六
舞鶴	舞鶴	舞鶴	舞鶴	舞鶴
全年八月廿二日	全年八月廿二日	全年八月廿二日	全年八月廿二日	全年八月廿二日
全年七月三十日	全年七月三十日	全年七月三十日	全年七月三十日	全年七月三十日
全年十一月五日	全年十一月五日	全年十一月五日	全年十一月五日	全年十一月五日
全年五月廿一日	全年五月廿一日	全年五月廿一日	全年五月廿一日	全年五月廿一日
全年九月廿日	全年九月廿日	全年九月廿日	全年九月廿日	全年九月廿日
全年十二月廿三日	全年十二月廿三日	全年十二月廿三日	全年十二月廿三日	全年十二月廿三日
全年三月十五日	全年三月十五日	全年三月十五日	全年三月十五日	全年三月十五日

上來表示シタル所ノモノハ明治三十九年度ニ於ケル製造事業ニシテ皆數年ニ亘ル繼續工事トス乃チ其支出金額ハ總計八百四十九萬八千四百六圓九十三錢五厘ナリ之ヲ前年度ノ支出額ニ對比スレハ三百十二萬二千八百

五十五圓七十六錢ヲ減少セリ是レ蓋シ前年報ニ於テ一言シタル如ク海軍擴張費支辨ニ屬スル艦船ハ殆ント落成ニ近ツキタルカ爲メ其支出金額ヲ減少シタルモ軍艦製造及建築費ニ於テ製造ノ各艦ニ對スル支出額ノ多キ爲メナリ其他艦艇補足費等ニ屬スル製造費ノ支出アルモ本年度ニ於テハ尙ホ之ヲ揭上シ能ハサルヲ以テ後年度ニ於テ之レカ結果ヲ表示スルコトトセン即各艦船ニ對スル費計ヲ種別スレハ左ノ如シ

明治三十九年度支出艦船製造費別

區別	船體機關及定備豫備品費	兵器費	回航費	雜費	通計
海軍擴張費	二二,七四二,七八〇	一〇,一〇一,九二七	—	一六,一八六,七	二二,七四二,七八〇
軍艦製造及建築費	一〇,七二八,八〇四	一三,一三〇,八七	—	一六,一八六,七	一〇,七二八,八〇四
計	四七,二八七,四八三	一〇,一〇一,九二七	—	一六,一八六,七	五七,五五二,二七七
音羽	二二,七四二,七八〇	—	—	—	二二,七四二,七八〇
伏見	一〇,七二八,八〇四	一三,一三〇,八七	—	一六,一八六,七	一〇,七二八,八〇四
田見	—	—	—	—	—
羽田	—	—	—	—	—
計	一七,七三二,四〇六	一三,一三〇,八七	—	一六,一八六,七	二〇,〇四五,八五〇
香取	一五,〇四二,九四八	七,六七三,五〇四	—	一六,一八六,七	二一,四七四,四〇〇
鹿島	一五,四八七,二一〇	八,八七五,五五七	—	一六,一八六,七	二一,六三三,七五七
伊吹	二〇,七三二,一八五	九,七二八,六九九	—	一六,一八六,七	二一,〇四九,〇三五〇
計	五二,二七二,四九〇	二二,二六六,四三四	—	一六,一八六,七	八二,六六一,一七七

小汽船及雜船製造	總計
一三六,三五六一三五	五,四四〇,九一四
二六四,九六四,六五八	二,六四九,六四九,六五八
—	三九二,三七九,七六一
—	一五,四六三,四〇四
一三六,三五六一三五	八,四九八,四〇六,九三五

艦船別	工横須賀廠	工吳工廠	工佐世保廠	工舞鶴廠	工竹敷修理工場	工大湊修理工場	工馬公修理工場	工旅順工作部	其他	合計
山産風	1,800,000	9,600,000	2,700,000	1,200,000	2,100,000	3,300,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000
朝暮風	1,100,000	5,000,000	1,500,000	800,000	1,200,000	1,800,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
夕葉風	2,000,000	7,000,000	2,000,000	1,000,000	1,500,000	2,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
春風	1,500,000	6,000,000	1,800,000	900,000	1,300,000	2,000,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
追風	1,200,000	5,000,000	1,500,000	700,000	1,100,000	1,700,000	900,000	900,000	900,000	900,000
初雪露	1,000,000	4,000,000	1,200,000	600,000	900,000	1,400,000	700,000	700,000	700,000	700,000
白立露	800,000	3,000,000	900,000	500,000	700,000	1,100,000	600,000	600,000	600,000	600,000
夕雨	700,000	2,500,000	800,000	400,000	600,000	900,000	500,000	500,000	500,000	500,000
時露	600,000	2,000,000	700,000	300,000	500,000	800,000	400,000	400,000	400,000	400,000
朝露	500,000	1,500,000	600,000	200,000	400,000	700,000	300,000	300,000	300,000	300,000
野分	400,000	1,000,000	500,000	100,000	300,000	500,000	200,000	200,000	200,000	200,000
水月	300,000	800,000	400,000	80,000	200,000	400,000	150,000	150,000	150,000	150,000
松風	200,000	600,000	300,000	60,000	150,000	300,000	100,000	100,000	100,000	100,000
響波	100,000	300,000	150,000	30,000	70,000	140,000	50,000	50,000	50,000	50,000
敷雲	80,000	250,000	120,000	24,000	56,000	112,000	40,000	40,000	40,000	40,000
卷雲	70,000	220,000	110,000	21,000	52,000	104,000	35,000	35,000	35,000	35,000
三日	60,000	180,000	90,000	18,000	44,000	88,000	30,000	30,000	30,000	30,000
水雷艇	50,000	150,000	75,000	15,000	36,000	72,000	25,000	25,000	25,000	25,000
八十五隻	40,000	120,000	60,000	12,000	28,000	56,000	20,000	20,000	20,000	20,000
雜役船	30,000	90,000	45,000	9,000	21,000	42,000	15,000	15,000	15,000	15,000
其他	20,000	60,000	30,000	6,000	14,000	28,000	10,000	10,000	10,000	10,000
合計	11,000,000	40,000,000	12,000,000	6,000,000	8,000,000	12,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000

總計

110,100,000 111,000,000 112,000,000 113,000,000 114,000,000 115,000,000 116,000,000 117,000,000 118,000,000 119,000,000 120,000,000

(備考) 本表總計金額九、六四三、三四〇、三〇六ノ内四三、六五八、〇四六(津輕ノ分)ハ前年度概算拂ノ者精算ノ結果支出シ盡サ、ルニ因リ本年度總計金額ノ内ヨリ之ヲ控除スヘキ者ナリ故ニ後段艦船修理費累年統計表ニ於テハ九、五九九、六八二、二六〇(控除ノ額)ヲ掲上ス

夫レ修理費ノ多寡ハ年々言及シタル如キ理由ニシテ逐年軍艦ノ増加ニ伴ヒ正比ヲ爲スハ自然ノ數ナリトス而シテ明治三十七八年戰役間ニ於ケル修理ハ姑ラク之ヲ例外トスルモ本年度ノ如キハ一層ノ高度ニ達シ實ニ九百五十萬圓以上ニ上レリ是レ蓋シ晩近建造ノ軍艦ハ一萬噸以上殆ント二萬噸ノモノアリ斯ノ如キ巨大ノ艦隻逐年増殖シ來ルヲ以テ如何ニ修理費ノ高度ヲ占ムルカハ之ヲ判定スルニ難カラストス今試ニ軍艦一隻ニ對スル平均修理額ヲ檢スルニ軍備擴張ノ當初即チ明治十六年ニ在テハ一萬千六百圓後チ二十七年日清戰役ニ至リテハ一萬六千八百圓二十八年ニハ三萬九千二百圓爾後三十五年ニハ二萬六千七百圓三十六年ニハ二萬千三百圓三十七年ニハ三萬二千圓三十八年ニハ四萬八千九百圓本年ニ至リ七萬六千百圓ニ上レリ是以テ其趨勢ノ一斑ヲ察知スヘシ今茲ニ本年増加シタル費計ヲ種別スレハ水雷艇ニ於テ七十三萬九千三百十八圓雜船ニ於テ八十五萬五千五百一十一圓ヲ減殺スト雖モ軍艦ニ於テ三百七十二萬六千三百二

第五 會計

明治三十八年度歳入歳出豫算ハ明治三十七年十一月三十日開會ノ第二十
一回帝國議會ニ提出シ一ノ修正ナク其協賛ヲ經タリ

歳入

明治三十八年度海軍省主管歳入豫算額ハ經常部壹萬參千參百拾四圓臨時
部拾七萬八千六圓合計拾九萬千參百貳拾圓ニシテ其收入濟額ハ經常部百
貳拾九萬七百七拾六圓拾五錢九厘臨時部四拾七萬參千參百四拾五圓拾參
錢九厘合計百七拾六萬四千百貳拾壹圓貳拾九錢八厘ナリ故ニ豫算額ニ比
シ收入濟額ノ増加スルコト百五拾七萬貳千八百壹圓貳拾九錢八厘ナリ如
此増加ヲ來シタルハ海軍工廠資材材料物品賣拂益金ノアリシト工事請負
及物品購買契約不履行者ヨリ違約金ノ徵收多カリシト水路圖誌其他金屬
屑古被服等不用物品ノ拂下多カリシト受託船舶ノ造修收入多カリシ等ト
ニ由ル之ヲ科目別ニ表示スレバ左ノ如シ

明治三十八年度歳入増減計算書

治二十二年法律第四號會計法第二十一條及第二十二條ニ據リ翌年度ニ繰越シタル金額ニシテ千百拾萬五千參拾四圓七拾七錢五厘ハ全ク不用トナリシ金額ナリ茲ニ支出ノ概況ヲ示サンガ爲メ項別ニ之ヲ掲上スレバ左ノ如シ

明治三十八年度海軍省歳出決算額

科 目	豫算額	豫算決定後増加額		豫算現額	仕拂命 令濟額	翌年度 繰越額	不用額
		前年度 繰越額	豫備金 支出額				
海軍本省	1,868,000			1,868,000	1,868,000		
海軍本體給及諸給	1,130,000			1,130,000	1,130,000		
應給費	1,130,000			1,130,000	1,130,000		
修繕費	30,000			30,000	30,000		
死傷手當費	10,000			10,000	10,000		
賠償及訴訟費	10,000			10,000	10,000		
旅費	7,000			7,000	7,000		
雜給及雜費	9,000			9,000	9,000		
軍事給及諸給	3,000			3,000	3,000		
應給費	3,000			3,000	3,000		
總計	1,000,000			1,000,000	1,000,000		

科 目	豫算額	前年度 繰越額	豫備金 支出額	豫備金外 臨時支出額	豫算現額	仕拂命 令濟額	翌年度 繰越額	不用額
死傷手當費	11,000				11,000			
賠償及訴訟費	11,000				11,000			
旅費	10,000				10,000			
雜給及雜費	10,000				10,000			
諸手當費	10,000				10,000			
外國駐在員費	10,000				10,000			
糧食費	10,000				10,000			
被服費	10,000				10,000			
造兵及修理費	10,000				10,000			
造船及修理費	10,000				10,000			
演習費	10,000				10,000			
患者費	10,000				10,000			
軍港要港費	10,000				10,000			
艦費	10,000				10,000			
扶助費	10,000				10,000			
囚徒費	10,000				10,000			
水路費	10,000				10,000			
備外國人諸給費	10,000				10,000			
機密費	10,000				10,000			
機動費	10,000				10,000			
歳出經常部合計	1,000,000				1,000,000			

明治三十八年

科目	部局	内			
		海軍水會	軍事費	軍司令部	橫須賀鎮守府及所屬各團
科 目	部 局	決算總額			
俸給及諸給		三,七〇〇,〇〇〇	八,七九二,三〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇
應 費		三,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
修繕費		一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇
死傷手當		二,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇
賠償及訴訟費		九,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇
旅 費		三,八八〇,〇〇〇	三,八八〇,〇〇〇	三,八八〇,〇〇〇	三,八八〇,〇〇〇
雜給及雜費		三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇
諸 手 當		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
外國駐在員費		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
糧 食 費		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
被 服 費		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
造兵及修理費		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
造船及修理費		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
演 習 費		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
患 者 費		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
軍港要港費		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
艦 營 費		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
扶 助 金		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
囚 徒 費		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
水 路 費		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
備外國人諸給		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
機 密 費		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
合 計		一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇

臨時海軍建築部費	七萬三千〇〇〇	臨時海軍建築部費	七萬三千〇〇〇
建造兵船費	八萬八千〇〇〇	建造兵船費	八萬八千〇〇〇
體給及諸給	一〇萬八千〇〇〇	體給及諸給	一〇萬八千〇〇〇
旅費	九千〇〇〇	旅費	九千〇〇〇
雜給及雜費	一〇萬〇千〇〇〇	雜給及雜費	一〇萬〇千〇〇〇
拂下圖誌製造費	七千〇〇〇	拂下圖誌製造費	七千〇〇〇
吳造兵廠擴張費	一〇萬〇千〇〇〇	吳造兵廠擴張費	一〇萬〇千〇〇〇
軍艦製造及建築費	八萬七千七百〇〇	軍艦製造及建築費	八萬七千七百〇〇
船費	一〇萬〇千〇〇〇	船費	一〇萬〇千〇〇〇

十八年度海軍省所管經費決算部局別一覽表

部	所屬各廳	廳	所屬各課	課	軍		事		內		譯				
					經費	雜件	經費	雜件	經費	雜件	經費	雜件			
海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍總督府	六六八,二六〇	一,三六六,七九〇	六〇,九二〇	一,三六六,七九〇	六〇,九二〇	一,三六六,七九〇	六〇,九二〇	一,三六六,七九〇		
					教育本部	一,七六六,一七六	一,七六六,一七六	一,七六六,一七六	一,七六六,一七六	一,七六六,一七六	一,七六六,一七六	一,七六六,一七六	一,七六六,一七六	一,七六六,一七六	一,七六六,一七六
					艦政本部	六〇,九二〇	六〇,九二〇	六〇,九二〇	六〇,九二〇	六〇,九二〇	六〇,九二〇	六〇,九二〇	六〇,九二〇	六〇,九二〇	六〇,九二〇
					學校及練習所	五,七〇〇,九六〇	五,七〇〇,九六〇	五,七〇〇,九六〇	五,七〇〇,九六〇	五,七〇〇,九六〇	五,七〇〇,九六〇	五,七〇〇,九六〇	五,七〇〇,九六〇	五,七〇〇,九六〇	五,七〇〇,九六〇
					造船廠、工廠及火藥製造所	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇
					水路部	五,九八八,九六〇	五,九八八,九六〇	五,九八八,九六〇	五,九八八,九六〇	五,九八八,九六〇	五,九八八,九六〇	五,九八八,九六〇	五,九八八,九六〇	五,九八八,九六〇	五,九八八,九六〇
					探炭所及煉炭製造所	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇	一,一三三,八八〇
					病院	八,六三三,九六〇	八,六三三,九六〇	八,六三三,九六〇	八,六三三,九六〇	八,六三三,九六〇	八,六三三,九六〇	八,六三三,九六〇	八,六三三,九六〇	八,六三三,九六〇	八,六三三,九六〇
					軍法會議	一,〇一〇,〇〇〇	一,〇一〇,〇〇〇	一,〇一〇,〇〇〇	一,〇一〇,〇〇〇	一,〇一〇,〇〇〇	一,〇一〇,〇〇〇	一,〇一〇,〇〇〇	一,〇一〇,〇〇〇	一,〇一〇,〇〇〇	一,〇一〇,〇〇〇
					帝國武官元帥府及軍事審議院	一〇,三三三,九六〇	一〇,三三三,九六〇	一〇,三三三,九六〇	一〇,三三三,九六〇	一〇,三三三,九六〇	一〇,三三三,九六〇	一〇,三三三,九六〇	一〇,三三三,九六〇	一〇,三三三,九六〇	一〇,三三三,九六〇
海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇		
					海軍省	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇
					海軍省	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇
					海軍省	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇
					海軍省	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇
					海軍省	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇
					海軍省	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇
					海軍省	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇
					海軍省	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇
					海軍省	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇

營費表

費目	內		外		合計
	支	入	支	入	
薪給	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
津貼	500,000	500,000	500,000	500,000	1,000,000
福利	300,000	300,000	300,000	300,000	600,000
其他	200,000	200,000	200,000	200,000	400,000
合計	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	4,000,000

費目	內		外		合計
	支	入	支	入	
建造	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
建築	500,000	500,000	500,000	500,000	1,000,000
海軍工廠	300,000	300,000	300,000	300,000	600,000
資金	200,000	200,000	200,000	200,000	400,000
臨時事件	100,000	100,000	100,000	100,000	200,000
災害	50,000	50,000	50,000	50,000	100,000
其他	30,000	30,000	30,000	30,000	60,000
合計	2,380,000	2,380,000	2,380,000	2,380,000	4,760,000

尙累年度經費ヲ對照スレハ左ノ如シ

累年經費對照表

年 度	費 別	豫 算 額	決 算 額	決算額ノ豫算額ニ對スル殘		出 國 庫 總 額
				翌年度へ繰越	不 用	
三十八年度	經常 臨時	二四、五八七、五四二・三七九 一五、二六五、六〇四・四九五	二二、三三三、一三九・一四三 一一、〇七九、八〇一・七二〇	一、三八一、七六六・五二一 三、九五四、三九四・七一五	一、〇八七、三六二・六七五 二、三三一、四〇八・〇六〇	四三、〇、七三一・〇六八
三十七年度	經常 臨時	三九、八五三、一四六・八七四 二二、三七二、一四七・九六八	三三、四一四、九四〇・八六三 八、一三二、七二〇・〇八九	五、九三九、二二四・七九九 三、三九五、二九八・四九五	一、四四四、九八一・三九九 一、三六四、五〇五・四〇〇	四三、〇、七三一・〇六八
三十六年度	經常 臨時	一六、〇二〇、七七八・五六一 三、八三九、九二六・五二九	一四、八八〇、四九八・六七三 二、〇六二、二二八・七七一	一、一四八、二七九・〇九七 一、五五〇、五九〇	一、〇八七、三六二・六七五 一、一〇五、〇三九・七二五	四三、〇、七三一・〇六八
三十五年度	經常 臨時	二二、七三四、七八〇・五八二 一一、一八四、〇三三・七七七	二一、五三〇、三三七・〇〇二 一、四一八、七六六・九九五	一、二〇二、〇一三・五八〇 六、六八〇、七五六・八八三	一、〇八七、三六二・六七五 一、〇五四、五六九・一一三	四三、〇、七三一・〇六八
三十四年度	經常 臨時	二八、九四九、三二四・九八三 五〇、八六五、八五一・一〇五	二五、二六二、八四三・二九五 三、六三三、二六六・一八八	三、六三三、二六六・一八八 一、四一八、七二一・一八四	一、〇八七、三六二・六七五 一、〇五四、五六九・一一三	四三、〇、七三一・〇六八
三十三年度	經常 臨時	一七、九七八、三三三・三六二 七、七四九、八一七・七三三	一六、九一一、〇〇〇・〇八〇 四、三三三、八九五・〇二二	一、〇六六、三三三・二六〇 二、九五四、二九二・七七八	一、〇八七、三六二・六七五 一、〇五四、五六九・一一三	四三、〇、七三一・〇六八
三十二年度	經常 臨時	一五、五三三、三三三・九七七 八、九〇七、〇一九・一七三	一四、五七七、一四二・二四八 四、七〇八、四九五・八七一	一、〇六六、三三三・二六〇 六、一六六、一六〇・一一九	一、〇八七、三六二・六七五 一、〇五四、五六九・一一三	四三、〇、七三一・〇六八

特別會計

年 度	費 別	豫 算 額	決 算 額	決算額ノ豫算額ニ對スル殘		出 國 庫 總 額
				翌年度へ繰越	不 用	
三十一年度	經常 臨時	一一、七八八、二八三・三四〇 一〇〇、八四九、九四〇・四八五	一一、一九一、四七四・八六五 四七、三三八、四二七・〇三二	二、八六三、九七六・八八八 五、三〇一、四六三・三六八	一、〇八七、三六二・六七五 七、三三三、八五七・一七三	四三、〇、七三一・〇六八
三十年度	經常 臨時	一〇、〇六五、〇三〇・四三七 一〇〇、六七五、〇三〇・四三七	九、〇三三、四一四・八八八 四〇、八五〇、六四五・二一八	一、〇三三、四一四・八八八 五、〇三三、四一四・八八八	一、〇八七、三六二・六七五 一、〇五四、五六九・一一三	四三、〇、七三一・〇六八
二十九年度	經常 臨時	八、一五九、六六〇・七三三 三五、九七九、五九一・四四二	七、三三三、三九九・〇〇〇 二二、六五五、四二八・〇〇〇	八、一五九、六六〇・七三三 二、三三三、三九九・〇〇〇	一、〇八七、三六二・六七五 一、〇五四、五六九・一一三	四三、〇、七三一・〇六八
二十八年度	經常 臨時	一、一五六、〇二〇・四四六 一七、八七二、七六一・六三三	一、一五六、〇二〇・四四六 一六、〇七〇、二五二・一八三	一、一五六、〇二〇・四四六 一、一五六、〇二〇・四四六	一、〇八七、三六二・六七五 一、〇五四、五六九・一一三	四三、〇、七三一・〇六八
二十七年度	經常 臨時	五、八六八、九七四・二一九 九、三三〇、三三三・四六一	四、五七三、六〇五・四六二 五、六七九、五九九・一九八	一、二九五、三六八・七一一 三、六九五、八二四・二六四	一、〇八七、三六二・六七五 一、〇五四、五六九・一一三	四三、〇、七三一・〇六八
二十六年度	經常 臨時	七、六五五、九四七・九六六 一三、三六二、五〇六・九九二	二、九五九、四四五・七六三 八、一〇〇、九二一・一六九	一、二九五、三六八・七一一 一、二九五、三六八・七一一	一、〇八七、三六二・六七五 一、〇五四、五六九・一一三	四三、〇、七三一・〇六八
二十五年度	經常 臨時	五、七四二、二八九・九五九 一、一六五、八三二・四九一	五、三三三、七一一・八八四 九、一三三、〇五五・六〇五	四、一七三、八四八・八八四 一、九三三、〇五五・六〇五	一、〇八七、三六二・六七五 一、〇五四、五六九・一一三	四三、〇、七三一・〇六八
二十四年度	經常 臨時	六、七九八、六七三・五六一 一一、五八一、二二二・七六八	四、〇八九、三〇〇・七九一 九、五〇一、六六一・四〇三	二、七〇八、三六三・八七四 五、八〇一、六六一・四〇三	一、〇八七、三六二・六七五 一、〇五四、五六九・一一三	四三、〇、七三一・〇六八
二十三年度	經常 臨時	六、二八八、八一三・三〇三 九、六三三、三三七・七〇九	五、七八六、三三一・三六九 四、三三三、九三三・二八一	七、〇〇八、七二四・〇 五、〇六六、九六二・〇三三	一、〇八七、三六二・六七五 一、〇五四、五六九・一一三	四三、〇、七三一・〇六八

科 目	豫定額	確定額	收入済額	不 缺 損 額	收 未 済 額	豫定額ニ比シ收入済額ノ差	
						増	減
第一款材料物品收入	一七、七四一、七七八、〇〇〇	一五、三五四、〇六六、二五二	一五、四四一、二九二、八九〇	一、一七四、七三六、八〇〇	一、一七四、七三六、八〇〇	一、一七四、七三六、八〇〇	一、一七四、七三六、八〇〇
第一項材料物品拂下代	一七、七四一、七七八、〇〇〇	一五、三五四、〇六六、二五二	一五、四四一、二九二、八九〇	一、一七四、七三六、八〇〇	一、一七四、七三六、八〇〇	一、一七四、七三六、八〇〇	一、一七四、七三六、八〇〇
第一目材料物品拂下代	一七、七四一、七七八、〇〇〇	一五、三五四、〇六六、二五二	一五、四四一、二九二、八九〇	一、一七四、七三六、八〇〇	一、一七四、七三六、八〇〇	一、一七四、七三六、八〇〇	一、一七四、七三六、八〇〇
歳 入 合 計	一七、七四一、七七八、〇〇〇	一五、三五四、〇六六、二五二	一五、四四一、二九二、八九〇	一、一七四、七三六、八〇〇	一、一七四、七三六、八〇〇	一、一七四、七三六、八〇〇	一、一七四、七三六、八〇〇

明治三十八年度海軍工廠資金歳入ノ收入済額合計ハ貳千四百五拾四萬貳千貳百九拾貳圓八拾九錢ニシテ之ヲ豫定額合計千七百七拾四萬千七百七拾八圓ニ比較スレバ六百八拾萬五百拾四圓八拾九錢ノ増加ヲ生ス之レ材料ノ賣拂多カリシニヨリ七百拾六萬六千六百五拾七圓參拾七錢前年度收入未済ノ金額ヲ本年度ニ於テ收入セシモノ四拾四萬五千六百參拾貳圓貳拾五錢五厘合計七百六拾壹萬貳千貳百八拾九圓六拾貳錢五厘増加スベシト雖モ收入未済ノ金額八拾壹萬千七百七拾四圓七拾參錢五厘ヲ翌年度ニ繰越シタル爲メ差引前掲金額ノ増加トナル即之ヲ表示スレバ左ノ如シ

明治三十八年度海軍工廠資金歳出ノ豫定額合計ハ千八百五拾八萬七千參

科 目	豫定額	前年度繰越額	臨時支出額	豫定現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
第一項材料物品費	一八、七四一、七七八、〇〇〇	一、〇一四、四〇六、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一八、一〇六、九六八、〇〇〇	一七、九一七、〇九六、〇〇〇	一、一八九、八七二、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇、〇〇〇
第一目材料物品費	一八、七四一、七七八、〇〇〇	一、〇一四、四〇六、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一八、一〇六、九六八、〇〇〇	一七、九一七、〇九六、〇〇〇	一、一八九、八七二、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇、〇〇〇
歳 出 合 計	一八、七四一、七七八、〇〇〇	一、〇一四、四〇六、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一八、一〇六、九六八、〇〇〇	一七、九一七、〇九六、〇〇〇	一、一八九、八七二、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇、〇〇〇

百五拾貳圓ニシテ豫定現額合計ハ貳千八百拾萬九千六百五拾七圓四錢ナリ故ニ豫定現額ノ豫定額ニ比シ増加スルコト九百五拾貳萬貳千參百五圓四錢ナリ此ノ増加額ノ内百貳萬貳千參百五圓四錢ハ前年度ヨリ繰越シタル金額ニシテ八百五拾萬圓ハ本年度豫算不足ノ爲メ増加ヲ受ケタル金額ナリ而シテ其支出済額合計ハ貳千貳百五拾六萬千參百九圓八拾六錢四厘ニシテ之ヲ豫定現額合計貳千八百拾萬九千六百五拾七圓四錢ニ比較スレバ五百五拾四萬八千參百四拾七圓七錢六厘ヲ減少ス此ノ減少額ノ内貳百貳拾四萬四千八百貳拾九圓七拾錢六厘ハ明治三十八年勅令第五十一號海軍工廠資金會計規則第四條ニ據リ翌年度ニ繰越シタル金額ニシテ參百參拾萬參千五百拾七圓四拾七錢ハ全ク不用トナリシ金額ナリ左ニ之ヲ表示ス

明治三十八年度海軍工廠資金收入支出計算書

收		入		支		出	
科目	目	金額	合計	科目	目	金額	合計
第一欸材料物品收入	第一欸材料物品賣拂代	二四、五四二、二九二、八九〇	二四、五四二、二九二、八九〇	第一欸材料物品費	第一欸材料物品費	二二、五六一、三〇九、八六四	二二、五六一、三〇九、八六四
	第一項材料物品賣拂代	二四、五四二、二九二、八九〇			第一項材料物品費	二二、五六一、三〇九、八六四	
歲入合計		二四、五四二、二九二、八九〇	歲出合計		二二、五六一、三〇九、八六四		
收入未濟額		八一、七七四、七三五	支出未濟額		二、二四四、八二七、〇〇六		
翌年度へ繰越物品ノ價格		二、六七〇、三三〇、九八六	前年度ヨリ繰越物品ノ價格		六、六一五、〇四九、五一〇		
前年度支出未濟額		一〇、三三三、〇四〇	前年度收入未濟額		四、四五六、三二二、五五五		
代價支出未收物品ノ價格		二、五一一、二四五、五二八	前年度代價支出未收物品本年度收入額		七、五九九、〇〇〇、三〇九		
前年度前受金精算未濟本年度精算濟額		二、九七四、二九一、四二六	前年度前受金精算未濟本年度精算濟額		一〇、七九〇、七〇三、〇二五		
前年度前受金精算未濟翌年度へ繰越額		四、二六一、四四一	前年度前受金精算未濟翌年度へ繰越額				
收入合計		四四、三三六、四八二、〇四六	支出合計		四三、四一七、〇四六、六六九		
差引收入剩餘		一、九一九、五三七、三七七					

(備考) 收入剩餘金ハ海軍工廠資金材料物品賣拂益金トシ明治三十八年度一般ノ歳入ニ納付ス

自明治三十四年度至同三十八年度 五箇年間海軍工廠資金増減表

名稱	三十八年度	三十七年度	三十六年度	三十五年度	三十四年度	比較	差
海軍工廠資金	五八、五三三、三三三	四九、三二一、三三三	四三、〇三〇、〇八八	三九、六六五、〇六四	三三、三三三、三三三	增	一八、九〇七、三六二
	五八、五三三、三三三	四九、三二一、三三三	四三、〇三〇、〇八八	三九、六六五、〇六四	三三、三三三、三三三	增	一八、九〇七、三六二

自明治三十四年度至同三十八年度 五箇年間海軍工廠資金損益比較表

年度	益	損	資金	資金ニ對シ損益歩合
三十四年度	二四〇、九〇九、九九八		三九、六六五、〇六四	〇六一、五
三十五年	七九〇、七四五、二九四		四、三八四、七八九	一九一、〇
三十六年度	六六一、五六二、二四九		四、三三〇、三〇七、〇一八	一五二、七
三十七年度	九〇七、六四五、五一〇		四、五二二、一三三、二四五	二〇〇、七
三十八年度	一、一九四、五七三、七七七		五、八一五、三九四、二四五	一九二、四

第六 財産

海軍官有財産ハ本年度未即チ明治四十年三月三十一日ノ調査ニ依レハ其現在價格ハ總計二億四千三百八十五萬二千八百八十一圓三十九錢二厘ニシテ之ヲ前年度即チ三十九年三月三十一日ノ現在數ニ比視スレハ二百九十三萬百六十二圓九十八錢九厘ヲ增加セリ更ニ其總價格ヲ種別スレハ土地及樹木石類ハ二百五十九萬七千三百八十六圓六十一錢一厘ニシテ前年ニ比スレハ二十三萬四千五百二十二圓四十五錢一厘ヲ増シ家屋及附屬物ハ六十一萬九百四十五圓九十五錢四厘ニシテ前年ニ比スレハ一萬七千二百三十九圓六十九錢七厘ヲ増シ營造物及附屬物ハ二千四百三十七萬五千三百四十一圓二十錢三厘ニシテ前年ニ比シ八十五萬二千六百五十八圓二十二錢七厘ヲ増シ船舶即チ軍艦水雷艇其他雜船等ハ二億千六百二十六萬九千二百七圓六十二錢四厘ニシテ前年ニ比シ百八十二萬五千七百四十五圓六十一錢四厘ヲ増セリ而シテ其種類數量價格等ノ詳別ハ頗ル繁細ニ涉リ却テ通觀ニ便ナラサルヲ以テ之ヲ總括シテ左ニ表示セリ是ヲ第十七回ノ調査トス

第十七回海軍官有財產

明治四十年三月三十一日現在

地	土				所轄	種別	數量	價格
	舞鶴鎮守府	佐世保鎮守府	吳鎮守府	橫須賀鎮守府				
樹木石類地	計	計	計	計	計	計	計	計
一一三九二三四〇〇	二二二二四五三〇〇〇	一三三二七一九四〇〇〇	二一五三七七八九七五〇	五三五五八八四六〇				一九二一九五二二六 二五九七三八六六一 八二八二五三七〇 二二一八〇五四 八五一三三三四四 七〇、七二、四九〇 四一、九五、八六一三 一一、六七、一一〇三 九四、五四、九二五〇 一九、七三、六九三七 一一、四二、八六一七 一〇五、一七〇、四三三 八、七八、八〇四五 一一三、九五、八四七七 一六八、〇六、三八六〇 一六、八三、三九〇三 一八四、八九、六七三 六一〇、九四、五九五四

屋	家				合	計
	舞鶴鎮守府	佐世保鎮守府	吳鎮守府	橫須賀鎮守府		
家屋附屬物	家屋附屬物	家屋附屬物	家屋附屬物	家屋附屬物	家屋附屬物	計
計	計	計	計	計	計	計
一四〇、七三、八七〇	三、九四、二二三三	一、八九、一七二〇	三、八六、九九四七	三、四七、九五四九	八八九三二一	七二七七、二四九二〇

區別	備品		營需品		測品		器備		教育圖書		合計
	備品	營需品	測品	器備	教育圖書	備品	器備	教育圖書	備品		
八重山	一五、四二七、六七六	九、三七八〇	四、四七四、一四六	四、六二九、二七九	三五八、一八	三、五八一、八	一〇、四八六	三、四六七、一八五	二、四六八、四	五八、七三二、三四八	三、四六七、一八五
滿州	二二、七七八、六五一	九、二二七、九四五	二、四三三、三〇三	三、八二六、〇七二	〇、三五〇	四、九六二	二、四六八、四	二、九一六、五〇〇	二、四六八、四	二、九一六、五〇〇	五、八三三、〇〇〇
鈴谷	一、四七一、九〇九	五、三三三、七三三	五、三六、九六七	三、八三三、五五一	五、六六五、五	〇、三五〇	二、五四二、二	七、〇六六、二七〇	〇、九六一	二、八二六、四三六	七、〇六六、二七〇
韓電	二七、五九一、八七二	八、〇二八、七一	三、九、五七六、九六八	二、五四五、三三六	五、六一九、五	五、〇三九	〇、九六一	二、八、八四七、一〇四	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	二、八、八四七、一〇四
曙電	五、一〇二、二八二	四、〇六二、九七	一、九、七四七、六二〇	二、八六五、三九六	五、〇三九	〇、八六三	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	五、一〇二、二八二
春龍	五、〇二六、七六三	五、五五九	二、〇、五七九、二五	二、六八六、九五二	五、〇三九	〇、八六三	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	五、〇二六、七六三
有春	五、三八四、九五	九、五八六、二	一、八、二五九、九四七	二、六六二、八六七	五、〇三九	〇、八六三	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	五、三八四、九五
吹雪	五、四八六、二〇四	七、三三九、〇	一、七、二〇九、七五三	二、六六四、一八一	五、〇三九	〇、八六三	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	五、四八六、二〇四
霰明	五、九一八、七九六	六、五六一、四	一、六、一七〇、一五	二、四九六、二四五	五、〇三九	〇、八六三	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	五、九一八、七九六
初霜	六、〇〇五、二二	二、四二九、四	七、七六六、一一	二、三三三、〇八八	五、〇三九	〇、八六三	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	六、〇〇五、二二
神風	六、〇三三、三〇六	一、四四三、三	一、八、〇六〇、六七四	二、六二四、七七八	五、〇三九	〇、八六三	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	六、〇三三、三〇六
彌生	六、〇三八、一二五	二、八五九、九	一、四、五四九、一一	二、六二四、七七八	五、〇三九	〇、八六三	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	六、〇三八、一二五
如月	六、〇三六、四八六	一、五三二、七	一、八、八二九、〇一四	二、六二四、七七八	五、〇三九	〇、八六三	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	六、〇三六、四八六
山彦	五、三三七、八〇六	一、九三九、四	一、七、九四八、八七四	二、六二四、七七八	五、〇三九	〇、八六三	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	五、三三七、八〇六
賀須	四、三三〇、七四七	一、九三九、四	一、六、一三九、一	二、七八〇、四六五	四、〇五四	〇、八六三	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	〇、八六三	二、六、〇四八、三四一	四、三三〇、七四七
須賀	六、一五三、四六三	一、九三九、四	一、三、五三二、一一	二、七三三、六八八	六、六〇六	一、三三三	一、三三三	二、六、〇四八、三四一	一、三三三	二、六、〇四八、三四一	六、一五三、四六三

府鎮	守鎮		府鎮		府鎮		府鎮		府鎮		合計
	守鎮	府鎮	守鎮	府鎮	守鎮	府鎮	守鎮	府鎮	守鎮	府鎮	
橫須賀水雷艇隊	四、四四七、四二〇	四、八九七、一一	六、四六九、八二五	二、〇七八、七三九	一、六二九、八	〇、三九二	一、三〇、五四七、八八九	四、四四七、四二〇	四、八九七、一一	六、四六九、八二五	二、〇七八、七三九
第一潜水艇隊	一一〇、八六〇、一〇	九、九二六、六	四、五、七五一、一六八	一、一七一、〇六一	一、七三五、七一	一、三三〇、一	四、四二九、七二七	一一〇、八六〇、一〇	九、九二六、六	四、五、七五一、一六八	一、一七一、〇六一
特設船舶	八、一四七、一九〇	九、一八、一八四	一、四、三三九、三九八	七、〇四五、八一六	四、九九五、五	七、九二八、〇	一〇、四〇九、五一一	八、一四七、一九〇	九、一八、一八四	一、四、三三九、三九八	七、〇四五、八一六
橫須賀海兵團	八、九〇〇、八四七	七、〇四九、六	一、一、六七、一四八〇	六、五五一、〇六六	四、九五〇、七	一〇、四八六	一〇、八、〇二八、三五五	八、九〇〇、八四七	七、〇四九、六	一、一、六七、一四八〇	六、五五一、〇六六
橫須賀水雷團	二、一、二五八、〇七六	四、八三三、九五七	一、三、三三三、四二二	二、二二二、九七九	三、三三三、四二二	一、二九九、五〇	三、七三三、九六五	二、一、二五八、〇七六	四、八三三、九五七	一、三、三三三、四二二	二、二二二、九七九
砲術練習所	三、〇、八一、九七五	九、三三三、七九六	九、九〇〇、三七八	一、三、七六一、〇	五、八〇九、一一	一、二九九、五〇	一、六、九六一、五八八	三、〇、八一、九七五	九、三三三、七九六	九、九〇〇、三七八	一、三、七六一、〇
水雷術練習所	五、五六三、〇九四	一、二一六、九	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇	五、八〇九、一一	一、二九九、五〇	一、六、九六一、五八八	五、五六三、〇九四	一、二一六、九	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇
機關術練習所	二、四八四、九〇	一、九六三、四六九	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇	五、八〇九、一一	一、二九九、五〇	一、六、九六一、五八八	二、四八四、九〇	一、九六三、四六九	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇
機關學校	一、九六三、四六九	一、九六三、四六九	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇	五、八〇九、一一	一、二九九、五〇	一、六、九六一、五八八	一、九六三、四六九	一、九六三、四六九	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇
軍醫學校	一、三、七四一、七	一、三、七四一、七	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇	五、八〇九、一一	一、二九九、五〇	一、六、九六一、五八八	一、三、七四一、七	一、三、七四一、七	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇
主計官練習所	一、二八九、六四	一、二八九、六四	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇	五、八〇九、一一	一、二九九、五〇	一、六、九六一、五八八	一、二八九、六四	一、二八九、六四	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇
燃料調查委員	一、二八九、六四	一、二八九、六四	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇	五、八〇九、一一	一、二九九、五〇	一、六、九六一、五八八	一、二八九、六四	一、二八九、六四	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇
掃海器具試驗委員	一、二八九、六四	一、二八九、六四	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇	五、八〇九、一一	一、二九九、五〇	一、六、九六一、五八八	一、二八九、六四	一、二八九、六四	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇
大湊要港部	六、七三五、二六五	三、三三三、七五二	一、五、七〇六、八三八	七、〇六七、〇二五	四、二五八、四	一〇、五八四	九、三三三、〇六八	六、七三五、二六五	三、三三三、七五二	一、五、七〇六、八三八	七、〇六七、〇二五
望樓	一、二八九、六四	一、二八九、六四	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇	五、八〇九、一一	一、二九九、五〇	一、六、九六一、五八八	一、二八九、六四	一、二八九、六四	五、一三三、二九九	一、三、七六一、〇
橫須賀鎮守府	九、一五、五二七、六〇四	三、八、九六一、八二六	一、八、九六一、八二六	一、八、九六一、八二六	一、八、九六一、八二六	一、八、九六一、八二六	一、八、九六一、八二六	九、一五、五二七、六〇四	三、八、九六一、八二六	一、八、九六一、八二六	一、八、九六一、八二六
計	三、八、八二二、〇八九	八、二〇七、九三	三、五、三三〇、〇六五	七、二九二、四八一	四、七六〇、三	二、四〇五	八、二二二、五四三	三、八、八二二、〇八九	八、二〇七、九三	三、五、三三〇、〇六五	七、二九二、四八一
富石	三、一、三三二、二〇九	六、四三三、一三四	五、四〇八、三二七	七、三三三、二二三	四、七六〇、三	二、四〇五	三、七、四三三、六七〇	三、一、三三二、二〇九	六、四三三、一三四	五、四〇八、三二七	七、三三三、二二三
吳鎮守府	三、八、八二二、〇八九	八、二〇七、九三	三、五、三三〇、〇六五	七、二九二、四八一	四、七六〇、三	二、四〇五	八、二二二、五四三	三、八、八二二、〇八九	八、二〇七、九三	三、五、三三〇、〇六五	七、二九二、四八一

區別	備品		營需		消耗品		測品		器		教育圖書		合計
	備品	營需	營需	消耗品	消耗品	測品	測品	器	器	教育圖書	教育圖書		
須磨	二四六〇六一九六	七八三〇九六	三二三八七四六九	四八五七〇五六	三九四一六	一七五七	六、六七四九九〇						六、六七四九九〇
笠置	三〇六一二七〇五	一、五六四六七九	三七六三九八二〇	五、一五〇六四五	〇八六四	一七五七	七五、〇一六九九八						七五、〇一六九九八
葛城	一四、四八二七三	八一九九二	一、一五六〇五四七	四、〇六七八一	三三九五〇〇〇	一六五九	三四、〇三二八九						三四、〇三二八九
壹岐	八四五六五〇四		三八九八三三二	二、七〇六六七六		一六五九	一五、〇二二七七						一五、〇二二七七
津島	四、四八三九九一	一五七五〇八	六八五〇〇一五	六、六二三〇三五		一九五三	一六、八四三八一						一六、八四三八一
東海	三〇、一五八二一	三五八七三五六	九六一九二四一	三、七三三三九		二六七	一六、六五七〇三四						一六、六五七〇三四
叢雲	八八〇二〇二	一八二二八	四、六六二八七九	二、五八六七四二		一六五九	一六、二七三六一						一六、二七三六一
薄雲	五、〇四三八一		一三、九三二五六	二、九二一八〇六		一〇一一	二一、九六二四二八						二一、九六二四二八
霞雲	五、三三三三五八	二八六〇六四	一四、八六七四〇一	二、八八五七九六		一〇一一	二三、三八二九九						二三、三八二九九
不陽	五、七三三三九九	一〇六九九六	一四、九三三三八九	二、八七三二六八		一〇一一	二二、二二一七九九						二二、二二一七九九
夕霧	五、二二八九九三	一八四二	一五、六四九五〇八	二、六七七六二五		一〇一一	二二、一八七二八三〇						二二、一八七二八三〇
夕暮	五、四八三九五	一三五八三三	一三、三六四四九二	二、八八四九一〇		一〇一一	二二、九七七九八四						二二、九七七九八四
夕露	六、四一〇〇八〇	二七二四四	一〇、九七三〇七八	二、八八四九一〇		一〇一一	二二、九七七九八四						二二、九七七九八四
夕立	六、六六〇一九	二七二四四	一三、六〇一四六五	二、五八五九三八		〇五〇九	二二、八五九三九三						二二、八五九三九三
三日月	六、四四四一四七	九〇五七八	一三、五三〇八一	二、七六九二九一		〇五〇〇	二二、八三四八八五						二二、八三四八八五

鎮守府	備品		營需		消耗品		測品		器		教育圖書		合計
	備品	營需	營需	消耗品	消耗品	測品	測品	器	器	教育圖書	教育圖書		
野分	五、四〇〇五七	二二〇五〇	六、九二六四八一	二、五八五九三八		一八九九一	一四、九五二五七一						一四、九五二五七一
白雪	六、三三九五二〇	二二八五〇二	七、四二〇七九四	二、五八五九三八		七五四四六	一六、九九六五七二						一六、九九六五七二
松風	六、一四九七一		五、七四四〇七五	二、五八五九三八		一三七二	一三、八三三六六七						一三、八三三六六七
佐世保水雷艇隊	五、二一〇三二四九	一、三九五二六四	二、一七〇九二七三	二、五八五九三八		〇二五〇	七、五五〇八八一						七、五五〇八八一
竹敷水雷艇隊	四、四二二七三九二	一、五三三二二三	一、八九四六四五	二、二五四四五六四		一四三三四	七、〇二六三四八						七、〇二六三四八
佐世保海兵團	九、四二五六〇六三	六、四二二〇三三	一、一五六六九九六	四、二八九五一一〇		四九七三三	一、一六七二五三七二						一、一六七二五三七二
特設船舶	四、一八六五三六	二、六九二二二九	一、四九二二二五	一、七〇三六四五		四九七三三	一、〇四〇六						一、〇四〇六
佐世保港務部	二、五二五三三九五	四、五二二	一、四〇六四七五	三、七九七四〇		一五二九六	一、五二九六一七						一、五二九六一七
竹敷要港部	七、四〇一一〇六	八、六三三七五六	八、六七七六二六三	五、三三〇三八八		三七七三八	一、八三三三三二						一、八三三三三二
馬公要港部	一、五三三八四五七〇	二、四九〇九八七	一、四九二二七五一	三、四七九二八		三七七三八	九、二二二三八六五						九、二二二三八六五
長崎敷設隊		二、四九〇九八七	二、四九三三三三	一、四二二四六		七一一	一、七、〇九四〇八一						一、七、〇九四〇八一
佐世保敷設隊			二、四九三三三三	一、四二二四六		七一一	二、四六〇三四四						二、四六〇三四四
竹敷敷設隊			三、一八八五五	三、一八八五五		〇二〇〇	三、一八八五五						三、一八八五五
馬公敷設隊			五、三七五五六	五、三七五五六		〇二〇〇	五、三七五五六						五、三七五五六
佐世保鎮守府			二、三九八九三	二、三九八九三		〇二〇〇	二、三九八九三						二、三九八九三
佐世保工廠			五、二二三五	五、二二三五		〇二〇〇	五、二二三五						五、二二三五
永興防備隊			一、六七九八〇五	一、六七九八〇五		〇二〇〇	一、六七九八〇五						一、六七九八〇五
望樓			四、八一八	四、八一八		〇二〇〇	四、八一八						四、八一八
鎮海灣防備隊			一、〇八五四七九	一、〇八五四七九		〇二〇〇	一、〇八五四七九						一、〇八五四七九
元山備防隊			六、七三三五一二	六、七三三五一二		〇二〇〇	六、七三三五一二						六、七三三五一二

區別	艦費					測器		教育圖書		合計
	備品	貨品	消耗品	備品	貨品	備品	消耗品	備品	消耗品	
旅順	六,二八一七八	一五,四八四	一,二九八,一三二七	八,三九七,六五	二,〇〇〇					一九,九六六,七五四
旅順工作部	四,〇六六,二五四	三,九二五,四	三,六九八,六〇六	四,二五七,〇一						八,七六九,八一五
旅順軍法會議	一,〇八八,八五二	一,五八四,八四	一,二二〇,八〇三	五,五一六,〇						二,三九〇,二九九
旅順監獄	一,〇一七,九六一	七,七四二	一,三三〇,五六一	六,五五四,六						二,四二一,八一〇
大連防備隊	一,五〇九,七〇一		七,〇〇九,一五二	六,五五四,六						八,五一八,八五三
工作部大連支部			四,四〇九,二二九	二,〇一八,八六一						六,五六二,五三九
望樓			一,七一四,七三	四,五八〇,六二						六,二九四,三五五
特設船舶			六,九五五,六一	二,一七二,三九						六,九五五,六一
計	八〇,四三六,一七〇	一,〇五三,三三六	一,二七,八六〇,六一〇	一,一,一七四,九六八	九〇六,二二八			一,七二〇〇		三三三,一四四,八四二
艦隊司令官	三,七三三,二〇九	一〇,三七八,七五二	一,〇〇三,五〇八							一五,一三四,二一九
艦隊司令官	四〇,九八七,八六	五〇,三〇,五〇四	四二,九九六,六							九,五五九,二三六
驅逐隊	五〇,五二六,三六	三,九四九,二四	四三,九一九,八	一,七八五,六八〇						七,八二四,〇〇七
艇隊	一,七九二,四八八	一,六五五,六五	四三,九一九,八	八二一,一五九	一八九,〇八六					二,八一九,二九八
水路部測器科				一四四,〇七六	五九,五九三					二〇三,六六九
水路部測量科				三八五,一八八	一,三五五,二〇五					一,三五五,二〇五
イ號渡渡船同航委員				三八七,五六八						三八七,五六八
假設望樓	九,五八〇,五四五									九,五八〇,五四五
計	二四,二五七,六六四	一五,八二九,四九五	一,八七二,六五一	三,五三二,六七	一,六〇三,八八四			二,四八四,〇七		四七,三三三,五八三
總計	三三,二〇九,六四九	一五,四二二,六六〇	一,〇七二,三三四	六,一八三,六五八	一,三〇八,二三七			六,六七二,五五		六六,七七八,七九

(備考) 表中*印ハ貨品ナリ
 艦費需品中最モ需用ノ多キモノハ石炭トス即チ各地炭庫ニ於テ出納シタル數量ヲ表示スレハ左ノ如シ

三十九年度石炭受拂

函館	横須賀	炭種		越	高	購入高	元受高	保管轉換其他	計	供給高	保管轉換其他	殘高
		第一種	第二種									
第一種	第一種	七,一六,〇〇〇	一,七六,〇〇〇	七,一六,〇〇〇	一,七六,〇〇〇			八,九二,〇〇〇	一,七六,〇〇〇	八,九二,〇〇〇	一,七六,〇〇〇	七,一六,〇〇〇
第二種	第二種	一,七六,〇〇〇	一,七六,〇〇〇	一,七六,〇〇〇	一,七六,〇〇〇			三,五二,〇〇〇	一,七六,〇〇〇	三,五二,〇〇〇	一,七六,〇〇〇	一,七六,〇〇〇
第三種	第三種	一,七六,〇〇〇	一,七六,〇〇〇	一,七六,〇〇〇	一,七六,〇〇〇			三,五二,〇〇〇	一,七六,〇〇〇	三,五二,〇〇〇	一,七六,〇〇〇	一,七六,〇〇〇
計	計	一〇,六八,〇〇〇	一〇,六八,〇〇〇	一〇,六八,〇〇〇	一〇,六八,〇〇〇			一五,九六,〇〇〇	一〇,六八,〇〇〇	一五,九六,〇〇〇	一〇,六八,〇〇〇	一〇,六八,〇〇〇

炭種	大湊		根室		留別		吳		兵庫		門司	
	第一煉炭	第二煉炭	第一煉炭	第二煉炭	第一煉炭	第二煉炭	第一煉炭	第二煉炭	第一煉炭	第二煉炭	第一煉炭	第二煉炭
越	1,018,000,000	1,107,000,000	1,107,000,000	1,107,000,000	1,107,000,000	1,107,000,000	1,107,000,000	1,107,000,000	1,107,000,000	1,107,000,000	1,107,000,000	1,107,000,000
高												
購入												
元受												
保管	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
轉換												
計	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
供給												
保管	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000
轉換												
殘	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
高												

炭種	佐世保		大島		基隆		釜山		仁川		元山津	
	第一煉炭	第二煉炭	第一煉炭	第二煉炭	第一煉炭	第二煉炭	第一煉炭	第二煉炭	第一煉炭	第二煉炭	第一煉炭	第二煉炭
越	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000
高												
購入												
元受												
保管	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000
轉換												
計	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000
供給												
保管	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000
轉換												
殘	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000	1,111,000,000
高												

炭種	舞鶴			竹敷			馬公			大連			旅順
	第一種	第二種	第三種	第一種	第二種	第三種	第一種	第二種	第三種	第一種	第二種	第三種	
越	1,943,000	9,260,000	3,683,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	6,996,000
購入高			6,883,000										6,996,000
元受高													1,000,000
其保管轉換	10,000,000	7,000,000	10,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	6,996,000
計	19,430,000	16,260,000	13,683,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	13,992,000
供給高	8,883,000	6,000,000	13,683,000										13,992,000
其保管轉換	11,547,000	10,260,000	10,000,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	6,996,000
殘高	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	6,996,000

煉炭製造所	總計												
	第一種	第二種	第三種	海軍製煉炭	戰利煉炭	第一種	第二種	第三種	第一種	第二種	第三種	計	
越	5,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	2,000,000	6,300,000,000	6,300,000,000	6,300,000,000	6,300,000,000	6,300,000,000	6,300,000,000	6,300,000,000	6,300,000,000	6,300,000,000
購入高					5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
元受高													
其保管轉換	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
計	6,100,000,000	2,200,000,000	2,200,000,000	3,100,000,000	11,600,000,000	11,600,000,000	11,600,000,000	11,600,000,000	11,600,000,000	11,600,000,000	11,600,000,000	11,600,000,000	11,600,000,000
供給高	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
其保管轉換	5,000,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	2,000,000,000	10,500,000,000	10,500,000,000	10,500,000,000	10,500,000,000	10,500,000,000	10,500,000,000	10,500,000,000	10,500,000,000	10,500,000,000
殘高	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000

又本年度ニ於ケル炭山鑛業ノ一斑ヲ概述スレバ左ノ如シ
 筑前國新原炭鑛ハ前年度ニ引續キ炭鑛内外諸般ノ設備ヲ爲シ試錐ヲ施行
 シ以テ將來ノ好果ヲ期セリ而シテ本年度中探得セシ炭量ハ次ノ如シ
 筑前國御德炭鑛ハ明治三十三年度ヲ以テ開掘ニ着手以來引續キ本年度ニ
 於テモ總テ請負ニ付シ探掘セリ本年度中同炭鑛ヨリ探掘セシ炭量ハ次ノ

如シ
 長門國長門炭鑛ハ三十七年四月中海軍省ニ買收シ同年末ニ於テ採炭ニ着手シ引續キ炭鑛内外ノ設備ヲ爲シ爾來開鑿事業ノ如キ漸次其歩ヲ進メ以テ將來ノ好果ヲ期セリ而シテ本年度中同炭鑛ヨリ採掘セシ炭量ハ次ノ如シ

新原炭

本年度採炭總高 六三、九六五、二〇九^キ

前年度越高 七、二四八、五五一

計 七一、二一三、七六〇

内譯

切込炭 五四、七三九、六五九

切込粉炭 五、八三〇、四〇六

骨炭 三、三三一、六九四

翌年度へ越高切込炭 七、三二二、〇〇一

御徳炭

本年度採炭總高 一九九、五四六、一九一^キ

前年度越高

五、一四〇、九五九
二〇四、六八七、一五〇

内譯

切込炭 一一七、三〇〇、〇〇〇

雜用塊炭 二〇、四〇〇、〇〇〇

粉炭及粗製炭(拂下) 三九、二三四、一五六

坑業用燃料炭 一六、三二一、五四八

翌年度へ越高(粉炭粗製炭) 六、六九七、一六〇

翌年度へ越高(切込炭) 三、〇〇〇、〇〇〇

翌年度へ越高(未撰炭) 一、七三四、二八六

長門炭

本年度採炭總高 七一、〇〇〇、〇〇〇^キ

前年度越高 四二、一三五、〇〇〇

計 一一三、一三五、〇〇〇

内譯

切込炭(本所送炭高) 一一一、五八五、〇〇〇

開鑿炭(燃料消費高)
翌年度越高(開鑿炭)

一三三〇、〇〇〇
二二〇、〇〇〇

第八 兵器

前年度即チ三十八年度ニ於テハ本項ニ係ル材料完備セサルカ爲メ缺如シタルヲ以テ今茲ニ之ヲ叙述セン
明治三十八年度ハ前年ヲ繼承シ日露戰役ノ爲メ兵器ノ需要供給ハ日ニ劇甚ヲ極メ各工廠ノ諸員職工ハ徹宵製作ノ業ニ服シ各特別任務ヲ有スル特設船舶ノ艦裝兵裝ニ改裝修理ヲ施スヘキモノ頻々相繼キ又艦隊ニ在テハ工作船ノ手ヲ以テ修理ヲ行フヲ以テ其工作力ヲ増大センカ爲メ各工廠製作力ヲ割キ急ニ應セサルヘカラズ而シテ本年度後半期平和克復スルヤ戰鬪ノ爲メ蒙リタル幾多損害補足ノ爲メ又繁劇ヲ加ヘ造兵ニ製鋼ニ改良進歩セシモノ尠カラストス乃チ本年度各廠ニ於ケル兵器造修ノ費額ヲ表示スレハ左ノ如シ

兵器造修

明治三十八年度

廠名	品名	種類	費額
海軍造兵廠	砲煩並屬具		四八〇、六三九、五三三
	水雷並屬具		七二〇、四〇五、九八九

廠名	品名	種	費額
吳海軍工廠	砲	砲類	三二六九、〇五八五四八
吳海軍工廠	水雷	水雷類	六八五、九七〇四四二
吳海軍工廠	砲類	砲類	一五二、九四九七三七
吳海軍工廠	砲類	砲類	四六七、二八三〇二四
吳海軍工廠	砲類	砲類	一七七、〇九七九一五
吳海軍工廠	砲類	砲類	一四一、七八〇一六四
吳海軍工廠	砲類	砲類	九三、八八三九〇七
吳海軍工廠	砲類	砲類	一五五、三九七九〇九
吳海軍工廠	砲類	砲類	六三九、六一〇〇三八
吳海軍工廠	砲類	砲類	三八六、六一七二四
吳海軍工廠	砲類	砲類	一、一五一五六五
吳海軍工廠	砲類	砲類	七、三六五四七三
吳海軍工廠	砲類	砲類	五五、二九九一
吳海軍工廠	砲類	砲類	二、七九三、七六二
吳海軍工廠	砲類	砲類	九三三、七二〇
吳海軍工廠	砲類	砲類	三三三、一〇七一
吳海軍工廠	砲類	砲類	八五〇、一七
吳海軍工廠	砲類	砲類	六四〇、五〇四
旅順海軍工作廠	全		
大連工作部	全		
大湊海軍修理工場	全		
馬公海軍修理工場	全		
竹敷海軍修理工場	全		
海軍下瀬火藥製造所	全		
舞鶴海軍工廠	全		
佐世保海軍工廠	全		
橫須賀海軍工廠	全		
總計			七三、八七五、三〇三三

以上表示シタルモノハ經常部臨時部ヲ通シ製造修理改造兵裝等ノ本年度間完成シタルモノノ、費額ヲ總括計上シタルモノニシテ前年度ニ比シ下瀬

七三、八七五、三〇三三

火藥製造所ニ於テ砲類並屬具ニ四拾萬八千圓餘水雷並屬具ニ三拾萬七千圓餘ノ増加ヲ來シ造兵廠及吳工廠ニ於テ砲類並屬具ニ二十四萬二千百餘圓、造兵廠及橫須賀工廠ニ於テ水雷屬具十萬餘圓ノ減額ヲ見其他ハ多少ノ増減アルモ概シテ前年度ト甚シキ差違ヲ見ス是レ其前半期ハ尙ホ交戦中ニアルモ後半期ニ於テハ平和克復ニ至ルモ戦後ノ餘響アルカ爲メ戦時中ノ費計ト大差ナキ所以ナリ

兵器造修事業ニ伴ヒ製鋼事業ノ大要ヲ述フルニ先ツ其一斑ヲ吳工廠ニ就テ一言スルニ同工廠製鋼部ニ於ケル成績ハ三十七年度ニ比スレハ製鋼噸數ニ於テ約一倍半ノ多キニ達シタリ是レ三十七年日露開戦ノ結果需用増加ノ爲メ日夜作業シタルト一ハ装甲板工場ノ竣成ト其擴張設備完成ヲ告ケタル結果ニ外ナラス

製鋼高ニ於テハ砲身、砲架地金、彈丸地金、甲鐵地金、普通鋼材、鋼鑄物ノ製出金ニ「ニツケル」鋼二千七百三十六噸ノ製出金ヲ合セ二萬三千三十三噸ヲ算セ

リ今之ヲ左ニ表示シ以テ本年度ニ於ケル造兵、製鋼ノ統計ヲ終ラン

應名	製鋼高	鑄鐵溶解高	青銅製造高
吳海軍工廠	三三、〇三三、〇〇〇 <small>圓</small>	五、〇二七、〇〇〇 <small>圓</small>	一一、〇四六、〇〇〇 <small>圓</small>
海軍造兵廠	四八七、〇〇〇 <small>圓</small>		

第九 土木

明治三十九年度ニ於ケル海軍所用土地ノ増減ヲ概叙スルニ本年度間新ニ海軍官用地ニ編入シタルモノ各鎮守府所屬ヲ通シテ五十六萬五千九百十二坪餘又民有地ト交換ノ爲メ減地ニ屬スルモノ六萬二千九百八十二坪ニシテ差引本年度末即チ四十年三月三十一日現在總坪數ハ七百二十七萬七千二百四十九坪二合一勺トス之ヲ前年度末ニ比照スレハ五十萬二千九百三十坪餘ヲ増加セリ其所在地所用名及坪數地價等ノ細別ハ冗長ニ涉ルヲ以テ之ヲ略シ各所轄ニ繫ケテ表示スルコト左ノ如シ

海軍官用地總數

明治四十年三月三十一日調

所轄	坪數	地價	前年ニ比較	
			坪數	地價
經理局	五三五、五八四、六〇〇 <small>坪</small>	二五〇、八一六、七九一 <small>圓</small>	增	五、七八九、四四〇 <small>圓</small>
橫須賀鎮守府	二、一五三、七八九、七五〇	六〇二、六二八、四二四	增	一、八七〇、九八一、一一〇
吳鎮守府	一、三二七、一九四、〇〇〇	六七一、七五〇、〇七四	增	八七、五四一、〇〇〇
佐世保鎮守府	二、二二一、四五三、〇〇〇	八三三、八四三、三〇二	增	二、七三三、〇〇〇 <small>圓</small>
				一、五六、九九八、四〇三

所轄	坪數	地價	前年ニ比較	
			坪數	地價
總計	七,七七七,二四九,二一〇	一,七五五,二八九,八一	增	增
三十八年度末	六,七七四,三二八,六六〇	一,三〇五,七四〇,〇四一	增	增
三十七年度末	六,二九二,三二六,〇〇〇	一,〇七二,二二七,三六一	增	增
三十六年度末	五,八八九,七五三,〇〇〇	一,九五七,二五九,六八四	增	增
三十五年度末	五,五三六,二六三,四三〇	一,六二六,九五八,六六六	增	增

前表中ニ就キ預ケ及貸與シタルモノ其他各官廳人民ヨリ借用シタル土地ノ本年度末現在數ヲ示セハ左ノ如シ

所轄	預及貸與地		借用地	
	三十九年度末	前年度ニ比較	三十九年度末	前年度ニ比較
總計	八七九,四四七,五七	增	四〇〇,九七八,四六	減
經理局	三〇,八七八,〇四八	增	一三,九〇一,九五五	減
橫須賀鎮守府	六,三七七,五七八	增	六,五七五,二九九	減
吳鎮守府	二,一七一,一九六	增	一九六,二〇五,九二	減
佐世保鎮守府	二,八九七,七二五	增	二,八〇八,六二五	減
舞鶴鎮守府	八七,九四四,五七	增	四〇〇,九七八,四六	減

又新營及修繕ニ係ル狀況ヲ概舉スルニ其落成工事ノ數夥多ニシテ毎項之ヲ種別スルハ只繁細ニ涉リ通觀ニ便ナラサルヲ以テ之ヲ略シ新營修繕ノ二項ニ大別シ其費額ヲ觀ルニ總計百五十三萬六千七百四十五圓五十八錢九厘ニシテ之ヲ前年ニ比照スレハ新營費ニ於テ百二十六萬三千二百二十八圓四十二錢七厘ヲ減シ修繕費ニ於テ三萬九千九百九十二圓九十一錢ヲ増シ差引全ク百二十二萬三千百三十五圓五十一錢七厘ヲ減少セリ即チ左表ニ舉示スルカ如シ

新營及修繕工事 明治三十九年度

管理廳	新營費		修繕費		通計
	一七五,一四七,九〇 <th>一三,八三〇,三八〇 <th>四六,六八七,三三三 <th>三三,三四五,一七〇 </th></th></th>	一三,八三〇,三八〇 <th>四六,六八七,三三三 <th>三三,三四五,一七〇 </th></th>	四六,六八七,三三三 <th>三三,三四五,一七〇 </th>	三三,三四五,一七〇	
經理局	一七五,一四七,九〇	一三,八三〇,三八〇	四六,六八七,三三三	三三,三四五,一七〇	三三,三四五,一七〇
橫須賀鎮守府	三〇,八四七,二九九	四,〇三七,四五七	一〇,〇三七,四五七	二二〇,五四二,九七六	二二〇,五四二,九七六
吳鎮守府	一,七九五,〇五一	四四,三三八,二三七	五八一,八一〇,二二七	三四七,八八五,七一	三四七,八八五,七一
佐世保鎮守府	五,三七四,二九九	二八,二五五,三九〇	—	—	—
舞鶴鎮守府	三一九,六三〇,三二	一七四,一九二,八七七	—	—	—
總計	一,三六二,五五二,七二	一,七四一,九二八,七七	—	—	一,五三六,七四五,五八九

(備考) 本表中ニハ災害復舊費ヲ掲上セズ

前面表示シタル本年度間造修工事ノ著シキモノ一二ヲ摘録スレハ經理局所管ニ於テハ海軍省副官官舎新營、海軍大學校暖房管改造、橫須賀鎮守府ニ於テハ橫須賀工廠船渠工場改築、海兵團砲術練習所、水雷術練習所、吳鎮守府ニ於テハ造船廠、海兵團、佐世保鎮守府ニ於テハ造船廠、海兵團、舞鶴鎮守府ニ於テハ造船廠、需品庫、海兵團其他各鎮守府(橫須賀ヲ除ク)ニ於ケル擴張費ニ屬スル繼續工事等ノ諸項トス

第十 人員

海軍現役軍人及文官ノ總員ハ明治三十九年十二月三十一日ノ調査ニ依レハ四萬二千七百八十六人ナリ今此總員ヲ大別スレハ軍人ノ數ハ四萬千六百八十六人文官ノ數ハ千八百四十五人^{現役武官ヨリ勤務ニシテ前年同日ノ數ニ對比スレハ軍人ニ於テ千八百四十五人ヲ増シ文官ニ於テ十六人ヲ減セリ其他雇員傭人ノ總員ハ三千八百九十人ニシテ前年ニ比シ百一十一人ヲ減セリ是レ蓋シ本年ニ在テハ戰後各應部隊ノ復舊ニ從ヒ漸次各職員ヲ定置シタルヲ以テ陸上諸官廳ニ於テハ軍人僅ニ百三十六人ヲ増シ文官ニ於テ八人雇員傭人ニ於テ百十二人ヲ減シタリ又艦團部隊ニ於テハ艦艇數ノ増加ニ隨伴シ千七百四十一人ノ増加ヲ呈セリ以上敘述シタル所ハ概略ニシテ尙ホ細カニ各官職ヲ班別スレハ彼此増減ノ同シカラサルモノアリ乃チ茲ニ海軍總人員ヲ大別シ最近十年ノ統計ヲ表章シ以テ増減ノ趨勢ヲ示シ逐次後段ニ列載シタル所ニ就テ其狀況ヲ明ニセン}

海軍總人員累年對照

(括弧ハ重出ヲ示ス)

官	文		人		軍		區別
	全判	全判	通計	卒下	准候士	將官總	
全休職	判任待遇	全休職(非職)任	奏勅任	計	計	士官	卅九年
一	七六	八七一	三三	三三	四一六二	七七一	卅八年
四	七二	八八六	三三	三三	三九三四	七九五	卅七年
一〇	五九	八四八	一一	一一	三五七一	六六三	卅六年
六六	一七六	七八七	一四	一四	三三三五	五五	卅五年
六六	五八	九〇〇	七	七	二九九八	六五二	卅四年
五九	五三	八九二	七	七	二七〇七	四七	卅三年
四九	四四	八三九	四	四	二四三三	四〇	卅二年
三五	三七	七七七	五	五	二一九七	三〇	卅一年
三五	三八	六九四	五	五	一九七三	二九	三十年

總計	通計	人員	備人	軍人	
				現役	候補生
四二七八六	一一〇〇	三三八九〇	四〇九五七	一〇六八	一、一五二
四〇九五七	一一一六	四〇〇二	三七二七九	一、一五二	一、一四三
三三八九〇	一〇六八	三三九八	三三九八	一、一五二	一、一四三
三三九八	一〇六八	二六〇八	二六〇八	一、一五二	一、一四三
二六〇八	一、一五二	二、七三一	二、七三一	一、一五二	一、一四三
二、七三一	一、一四三	二、五八二	二、五八二	一、一五二	一、一四三
二、五八二	一、一四三	二、五八二	二、五八二	一、一五二	一、一四三
二、五八二	一、一四三	二、五八二	二、五八二	一、一五二	一、一四三
二、五八二	一、一四三	二、五八二	二、五八二	一、一五二	一、一四三

明治三十九年ニ於テ海軍高等武官ノ進級シタル者五百人候補生ノ實務練習ヲ終テ本官ニ任セラレタル者二百十二人トス而シテ高等武官及候補生ノ本年間豫備役後備役トナリ其他免官死亡シタル者百六十九人ニシテ新任者二百六十一人トス即チ現役者九十二人ヲ増加セリ又准士官ノ豫備役後備役退役トナリ其他死亡シタル者五十五人ニ對シテ下士ヨリ陸任ノ者百九十一人トス即チ現役者百三十六人ヲ増加セリ更ニ高等武官候補生准士官ノ三者ヲ一併シテ増減ノ如何ヲ觀察スレハ二百二十八人ヲ増加セリ即チ其増減異動ヲ表示スレハ左ノ如シ

現役高等武官及候補生准士官異動

即治三十九年

種別	進級進等		減員		增員		差引
	官	候補生	後備役	退役	新任	下士ヨリ任官	
將校	八	—	六	—	—	—	七
將官	—	—	—	—	—	—	—

種別	將校		將校				計	進級	進等	候補生	減員	增員	差引
	士上	長官	機將	關將	軍總	醫長							
進級	八二	一四七	二二六	五〇	二七	二	二	二	二	二	二	二	二
進等													
候補生													
減員	三六	二	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
增員													
差引	四一	四	五二	四	一七	三	四	二	二	二	二	二	二

種別	將校		將校				計	進級	進等	候補生	減員	增員	差引
	士上	長官	機將	關將	軍總	醫長							
進級	八二	一四七	二二六	五〇	二七	二	二	二	二	二	二	二	二
進等													
候補生													
減員	三六	二	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
增員													
差引	四一	四	五二	四	一七	三	四	二	二	二	二	二	二

(備考) 本表ノ外機關中佐ヨリ造兵中監ニ轉スル者一人アリ
 佐ヨリ上長官ノ内三十八人ハ大尉ヨリ機關官上長官ノ内十三人ハ機關大尉ヨリ軍醫官
 總監ノ二人ハ軍醫大監ヨリ上長官ノ内九人ハ大軍醫ヨリ主計官上長官ノ内十五人ハ
 大主計ヨリ造船官總監一人ハ造船大監ヨリ造兵官總監一人ハ造船大監ヨリ進級ノ者

此増減ヲ經テ准士官以上本年十二月三十一日ノ現役人員ハ四千百六十二人トス其官等俸給ノ種別ハ左ノ如シ

現役高等武官及候補生准士官

明治三十九年十二月三十一日現員

階級	將官		及		總		監	
	官等		官等		官等		官等	
	大	中	少	機	軍	主	造	造
人員	一	一	一	一	一	一	一	一
俸給年額	三〇,〇〇〇	五六,〇〇〇	四〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇	八二,〇〇〇	四〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇
人員	二	二	二	二	二	二	二	二
俸給年額	九六,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇
人員	六	六	六	六	六	六	六	六
俸給年額	一四,〇〇〇	二,四〇〇	二,四〇〇	二,四〇〇	二,四〇〇	二,四〇〇	二,四〇〇	二,四〇〇
人員	七	七	七	七	七	七	七	七
俸給年額	三九,六〇〇	七六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇
合計	七	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
俸給年額	三九,六〇〇	七六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇

階級	將官		及		總		監	
	官等		官等		官等		官等	
	大	中	少	機	軍	主	造	造
人員	一	一	一	一	一	一	一	一
俸給年額	三〇,〇〇〇	五六,〇〇〇	四〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇	八二,〇〇〇	四〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇
人員	二	二	二	二	二	二	二	二
俸給年額	九六,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇
人員	六	六	六	六	六	六	六	六
俸給年額	一四,〇〇〇	二,四〇〇	二,四〇〇	二,四〇〇	二,四〇〇	二,四〇〇	二,四〇〇	二,四〇〇
人員	七	七	七	七	七	七	七	七
俸給年額	三九,六〇〇	七六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇
合計	七	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
俸給年額	三九,六〇〇	七六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇	六,四〇〇

海軍高等武官候補生平均年齢

明治四十年三月末日調

官階	將校	機關官	軍醫官	藥劑官	主計官	造船官	造兵官	水路官
大將	56.9				53.6			
中將	52.9	48.8			50.1			
少將	49.1	46.1	48.1		47.7			
大佐	43.1	42.4	46.1	48.9	44.2	47.7		
中佐	39.0	38.5	41.6	41.2	40.4	40.0		
少佐	36.2	34.3	36.3	36.2	39.9	36.1	36.5	
大尉	28.3	28.8	31.3	33.2	32.2	30.0	30.2	
中尉	25.9	25.0	26.8	28.0	28.3	26.7	28.1	
少尉	23.9	24.2	25.5		25.1			
候補生	22.2	22.3	24.6		25.0			

海軍高等武官並准士官ノ本年間ニ於テ豫備役後備役ニ入ル者百八十五人ニシテ後備役滿期其他死亡ノ者ヲ取捨シ本年十二月三十一日現員ハ四百六十八人トス其種別左表ノ如シ

豫備役後備役人員

明治三十九年十二月三十一日現員

官階	將			校			區別	豫備役	後備役	通計
	大	中	少	大	中	少				
大將	1						將			1
中將	1						將			1
少將	1						將			1
大佐	1	1	1				佐			3
中佐	1	1	1				佐			3
少佐	1	1	1				佐			3
大尉	1	1	1				尉			3
中尉	1	1	1				尉			3
少尉	1	1	1				尉			3
候補生							尉			3
計	6	6	6	6	6	6	計			18

區別	官准士計		豫備役	後備役	通計
	總計	官准士計			
三十七年	二二四	二〇一			一七九
三十八年	三三三	二二四			一七六
三十九年	四六八	三三三			三〇三
總計	一〇二五	六五九			三六六

海軍豫備員ハ本年商船學校卒業者中豫備少尉候補生トナル者十一人豫備機關少尉候補生トナル者十六人豫備兵曹トナル者二十四人豫備機關兵曹トナル者十四人集計六十五人ナリ之ニ明治二十年以降ノ者ヲ併セ本年十二月三十一日現在員ハ總計七百一人トス其種別左表ノ如シ

海軍豫備員

明治三十九年十二月三十一日現員

編入年別	豫備少尉候補生		豫備機關少尉候補生		豫備兵曹	豫備機關兵曹		總計
	少尉候補生	機關少尉候補生	少尉候補生	機關少尉候補生		兵曹	機關兵曹	
二十二年	一	一	一	一				四
二十三年	三	三	三	三				一二
二十四年	九	九	九	九				三六
二十五年	三	三	三	三				一二
二十六年	一	一	一	一				四
二十七年	一	一	一	一				四
二十八年	一	一	一	一				四
二十九年	一	一	一	一				四
三十一年	一	一	一	一				四
三十二年	一	一	一	一				四
三十三年	一	一	一	一				四
總計	三三	三三	三三	三三	三	三	三	一三二

現役下士ノ本年間ニ於テ減員ニ算スヘキ者千二百五十一人ニ對シ卒ヨリ任官ノ者千五百四十三人ニシテ差引二百九十二人ヲ増加シ卒ノ減員トナル者四千五百十四人ニ對シ徵募シタル者五千八百三十九人ニシテ差引千三百二十五人ヲ増加セリ即チ三十九年十二月三十一日ノ下士卒現役總員ハ三萬七千五百二十四人トス之ヲ前年十二月三十一日ノ現在員ニ對比スレハ千六百十七人ヲ増加セリ今其増減ノ種別并現役人員及各費用別ヲ示セハ左表ノ如シ

下士異動

明治三十九年

再服役	區別										通計
	兵曹	信曹	船匠手	軍樂手	機關兵曹	看護手	筆記	厨宰	通計		
再服役	一四〇	一八	一四	六	一五一	一五	二	二	三七六		三七六

官名	給別	鎮守府		通計	一人一箇年費用		費用總額
		橫須賀	吳		俸給	被服費	
信一 號兵曹等	一 二 三 四	一〇	五	一五	二〇〇	二〇〇	一五九二六六七四
一 等軍樂手	一 二 三 四	八	九	一七	二〇〇	二〇〇	一〇三七一三三六
一 等船匠手	一 二 三 四	七	九	一六	二〇〇	二〇〇	三三六六一六八
機一 關兵曹等	一 二 三 四	七	九	一六	二〇〇	二〇〇	二五八七六九七
一 等看護手	一 二 三 四	七	九	一六	二〇〇	二〇〇	二二八一九七
計 並 平 均		七	七	一四	二〇〇	二〇〇	八三三九一六八五九

官名	給別	鎮守府		通計	一人一箇年費用		費用總額
		橫須賀	吳		俸給	被服費	
一 等筆記	一 二 三 四	一〇	八	一八	二〇〇	二〇〇	七六二三八九六
一 等厨宰	一 二 三 四	七	八	一五	二〇〇	二〇〇	一六三二一九九八
二 等兵曹	一 二 三 四	七	八	一五	二〇〇	二〇〇	一五九五八一三〇三
二 等軍樂手	一 二 三 四	七	八	一五	二〇〇	二〇〇	一七三三五六九一七六
信一 號兵曹等	一 二 三 四	七	八	一五	二〇〇	二〇〇	一七一四三三九六二
二 等船匠手	一 二 三 四	七	八	一五	二〇〇	二〇〇	一九六五五七五三
機一 關兵曹等	一 二 三 四	七	八	一五	二〇〇	二〇〇	三三八一八八五
計 並 平 均		七	七	一四	二〇〇	二〇〇	八三三九一六八五九

官名	給別	判		任		官		四	
		二等	一等	二等	一等	二等	一等	二等	一等
鎮守府	横須賀	七〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
鎮守府	吳	七	七	七	七	七	七	七	七
鎮守府	佐世保	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
鎮守府	舞鶴	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
通計		三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
一人一箇年費用	俸給	一四六〇〇〇	一三五〇五〇	一四六〇〇〇	一三五〇五〇	一四六〇〇〇	一三五〇五〇	一四六〇〇〇	一三五〇五〇
一人一箇年費用	被服費	二四四一五	二四四一五	二四四一五	二四四一五	二四四一五	二四四一五	二四四一五	二四四一五
一人一箇年費用	糧食費	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八
一人一箇年費用	被服修補手當	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇
費用總額		八八〇三〇四二	八九二六六六八	八八〇三〇四二	八九二六六六八	八八〇三〇四二	八九二六六六八	八八〇三〇四二	八九二六六六八

卒異動 × ハ 徴兵ニ係ル者

明治三十九年

區別	再服	減	員	三十七年		三十八年		總計	等	
				計	並平均	計	並平均		三等	二等
水兵	×	×	×	二〇三	二〇三	二一五	二一五	七九四	二	三
信號兵	×	×	×	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	八二九	一〇	九
軍樂生	×	×	×	七〇	七〇	七〇	七〇	二七二	一〇	七
機關兵	×	×	×	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇九	一〇	九
木工	×	×	×	一〇	一〇	一〇	一〇	八七	一〇	九
看護	×	×	×	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	九
主廚	×	×	×	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	九
通計				四一七	四一七	四一七	四一七	二二二	二二二	二二二

員增	徵募	計	區別	
			水兵	信號兵
		三三八一	一八七二 一五二〇	
				軍樂生
		八六	八六	機關兵
			一八九二 九七六	木工
		九八	四九	看護
		二二三	一六三 五〇	主厨
		一六九	八六	通計
		五八三九	二六六八	

前表ニ就キ更ニ累年ノ對照ヲ示セハ左ノ如シ

增	減	員	計	區別
徵募				三十九年
兵				三十八年
				三十七年
				三十六年
				三十五年
				平均

卒人員費用 明治三十九年十二月三十一日調

職名	水兵		信號兵		軍樂生		年費	補修	計	費用總額
	一	二	三	二	一	計				
橫須賀	一〇四〇	八三〇	一〇四〇	八三〇	一〇四〇	八三〇	一〇四〇	八三〇	一〇四〇	八三〇
吳	九四八	七五〇	九四八	七五〇	九四八	七五〇	九四八	七五〇	九四八	七五〇
佐世保	一二三	九五四	一二三	九五四	一二三	九五四	一二三	九五四	一二三	九五四
舞鶴	七四九	六五〇	七四九	六五〇	七四九	六五〇	七四九	六五〇	七四九	六五〇
通計	三二九六	二六六〇	三二九六	二六六〇	三二九六	二六六〇	三二九六	二六六〇	三二九六	二六六〇
俸給	七六六五〇	六五七〇〇	七六六五〇	六五七〇〇	七六六五〇	六五七〇〇	七六六五〇	六五七〇〇	七六六五〇	六五七〇〇
被服費	二六八九九	二六八九九	二六八九九	二六八九九	二六八九九	二六八九九	二六八九九	二六八九九	二六八九九	二六八九九
糧食費	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八
被服修	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇
計	一〇二〇四二	八二一〇五	一〇二〇四二	八二一〇五	一〇二〇四二	八二一〇五	一〇二〇四二	八二一〇五	一〇二〇四二	八二一〇五
費用總額	八一三三三	六七一三三	八一三三三	六七一三三	八一三三三	六七一三三	八一三三三	六七一三三	八一三三三	六七一三三

職名	軍樂生		木					工		機關兵					看		
	計並平均	五等	一	二	三	四	五	計並平均	一	二	三	四	五	計並平均	一	二	三
鎮守府	四六	四六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
通計	四六	四六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
俸給	二五五五〇	二五五五〇	五二九二五	七六六五〇	六五七〇〇	五四七五〇	四三八〇〇	二五五五〇	三三二九〇	七六六五〇	六五七〇〇	五四七五〇	四三八〇〇	二五五五〇	三三二九〇	七六六五〇	六五七〇〇
被服費	二五五九五	二五五九五	二五五九五	二五二八四	二五二六七	二五二六七	二五二六七	二五二六七	二五二六七	二五二六七	二五二六七	二五二六七	二五二六七	二五二六七	二五二六七	二五二六七	二五二六七
糧食費	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八	八七二九八
被服修補手當	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
計	一三九六四三	一三九六四三	一六七〇一八	一九〇四三三	一七九四六五	一六八五一五	一五七五五五	一九四四四八	一七八〇八五	一九二二二二	一八一二六五	一七〇三二五	一五九三六五	一九七四八三	一八〇一三三	一七一九六四	一五七〇三五
費用總額	六四三三二五	六四三三二五	二二二七〇〇	二六〇八九一	二四八五七〇	二二二七三三	一九〇四三三	二二二七三三	二二二七三三	二二二七三三	二二二七三三	二二二七三三	二二二七三三	二二二七三三	二二二七三三	二二二七三三	二二二七三三

總計並平均	主					護	
	計並平均	五等	四等	三等	二等	計並平均	五等
三十八年	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三十七年	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
總計並平均	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
俸給	五五〇四六	五五〇四六	五五〇四六	五五〇四六	五五〇四六	五五〇四六	五五〇四六
被服費	三〇〇二五	三〇〇二五	三〇〇二五	三〇〇二五	三〇〇二五	三〇〇二五	三〇〇二五
糧食費	七八九二五	七八九二五	七八九二五	七八九二五	七八九二五	七八九二五	七八九二五
被服修補手當	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
計	一八八三八五	一八八三八五	一八八三八五	一八八三八五	一八八三八五	一八八三八五	一八八三八五
費用總額	二四〇〇三三	二四〇〇三三	二四〇〇三三	二四〇〇三三	二四〇〇三三	二四〇〇三三	二四〇〇三三

以上表示シタル下士卒ノ本年十二月三十一日現在人員中職役ヲ缺少者左ノ如シ

(備考) 表中×符ハ徵兵ニ係ル者

現役下士卒缺職者

明治三十九年十二月三十一日現員

官職名	下		士		卒		總計
	兵	信	軍	船	機	木	
兵	號	號	號				
信	兵	兵	兵				
軍							
船							
機							
看							
木							
卒							
主							
通計	計	計	計	計	計	計	計
厨	宰	宰	宰	宰	宰	宰	宰
護	記	記	記	記	記	記	記
工	手	手	手	手	手	手	手
兵	曹	曹	曹	曹	曹	曹	曹
生	手	手	手	手	手	手	手
兵	曹	曹	曹	曹	曹	曹	曹
兵	曹	曹	曹	曹	曹	曹	曹
計	計	計	計	計	計	計	計
逃							
亡							
在							
檻							
在							
院							
行							
術							
不明							
計							
現員ニ對スル百分比例							

下士卒ノ明治三十九年間に於テ豫備役ニ入ル者三千七百七十七人ニシテ本年十二月三十一日豫備役後備役ノ總員ハ一萬三千九百七十八人ナリ其官職並所管鎮守府ヲ區別スレハ左ノ如シ

下士卒豫備役後備役人員 明治三十九年十二月三十一日現員

三	三	一八	二五
十	十	七	七
七	八	年	年
年	年		

官職名	下		士		總計
	兵	信	軍	船	
兵	號	號	號		
信	兵	兵	兵		
軍					
船					
機					
看					
木					
卒					
主					
通計	計	計	計	計	計
厨	宰	宰	宰	宰	宰
護	記	記	記	記	記
工	手	手	手	手	手
兵	曹	曹	曹	曹	曹
生	手	手	手	手	手
兵	曹	曹	曹	曹	曹
兵	曹	曹	曹	曹	曹
計	計	計	計	計	計
逃					
亡					
在					
檻					
在					
院					
行					
術					
不明					
計					
現員ニ對スル百分比例					

(備考) 表中廢官職ノ者並工夫ヨリノ數ハ平均ニ算セス○×符ハ徵兵ニ係ル者ヲ示ス

下士卒再役免官免役比例

×ハ徵兵

年次	下		士		卒	
	滿期再役	滿期免職	對スル再役	滿期再役	滿期免職	對スル再役
二十九年	三三二	二二六	五五五	二二〇	一五九	五七
二十八年	四八	五〇	四九	三〇四	一四六	六八
二十七年	五四	三七	五九	六七四	一九七九	二二六
二十六年	一六〇	七六	六八	五八七	二二〇	一九九
二十五年	二四九	九八	七二	五九三	二二〇	一九九
二十四年	二九七	八五	七八	五九三	二二〇	一九九
二十三年	一八六	四八	七二	四二二	一四七	一三五
二十二年	二四七	九五	七二	一〇一	二四九	二六
二十一年	三六七	一〇四	七八	一〇一	二四九	二六
二十年	二二四	一六一	五八	二五八	二四七	三六
十九年	一四四	九二	六二	二五八	二四七	三六
十八年	一九七	二二七	六二	二五八	二四七	三六
十七年	一七七	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
十六年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
十五年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
十四年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
十三年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
十二年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
十一年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
十年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
九年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
八年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
七年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
六年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
五年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
四年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
三年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
二年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
一年	一七四	二二〇	六〇	三七八	二四七	三六
平均	二二七	二二四	五三	四〇四	九四七	三〇

文官

年次	平均	滿期再役	滿期免職	對スル再役	滿期再役	滿期免職	對スル再役
二十九年	二五六	二二五	五〇四	一五九	一八二	一六三	一六
二十八年	三四五	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
二十七年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
二十六年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
二十五年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
二十四年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
二十三年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
二十二年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
二十一年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
二十年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
十九年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
十八年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
十七年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
十六年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
十五年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
十四年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
十三年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
十二年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
十一年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
十年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
九年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
八年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
七年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
六年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
五年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
四年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
三年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
二年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
一年	三三二	三七二	四八	一八九	一三七	一六三	一六
平均	二二七	二二四	五三	四〇四	九四七	三〇	三〇

海軍文官ハ明治三十九年ニ於テ減員ニ算スヘキ者百四十八人ニ對シ増員百三十二人ニシテ差引十六人ヲ減セリ此異動ヲ經テ三十九年十二月三十一日ノ現員ハ千百三人現役武官ヨリ包含ストス之ヲ區別スレハ在職者千八十六人休職者十七人ニシテ前年十二月末日ノ現員ニ比視スレハ在職者休職者共ニ八人ヲ減セリ其官職ニ就キ異動ヲ種別スレハ左表ニ舉示スルカ如シ

文官異動

明治三十九年

區別	進等			減員			增員				
	增俸	部内轉任	復職	他職ニ轉任	休職	免官	死亡	計	新任	他職ヨリ轉任	計
大	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

判										官職等	級	人	員	俸給年額				
錄	書					屬												
事	記					事												
七級	六級	五級	三級	二級	計	九級	八級	七級	六級	五級	計	九級	八級	七級	六級	五級	計	
俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸
三	二	六	一	二	二	三	三	三	七	五	二	四	五	四	四	二	二	一
一〇八〇	八四〇	二八八〇	六〇〇	二七四〇	七二〇〇	一四〇〇	一六九二〇	二二二六〇	二九二八〇	一七八二〇	七二〇〇	五七六〇	二一六六〇	一三〇〇	一三〇〇	一四四〇	八四〇	五二八〇

任										官	職	等	級	人	員	俸給年額			
編修書記					監獄書記			監獄看守長											
九級	七級	五級	四級	計	七級	五級	四級	計	九級	七級	五級	四級	計	九級	七級	五級	四級	計	
俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸
一	一	一	五	三	一	一	一	一	二	二	二	二	五	一	四	二	二	一	一
六〇六〇	一六二〇	一六二〇	二二〇〇	一六二〇	二四〇	三六〇	四二〇	二四〇	五〇四〇	七二〇	九六〇	五四〇	二一三〇	四九八〇	一〇八〇	九六〇	一〇八〇	二一三〇	四九八〇

官職等	判任	待遇	總計	三三		總計	人員	俸給	年額
				年	年				
官職等	判任	待遇	總計	三	三	總計	人員	俸給	年額
監獄看守	七級俸	計	計	二	一	三	二	五九	九七六八
技主	技師	計	計	一	一	二	二	七二	一一八四四
技書	書記	計	計	二	二	四	二	七六	一一二七〇
望望樓	望望樓	計	計	一	一	二	一	七六	一一二七〇
手長手	手長手	計	計	一	一	二	一	七六	一一二七〇
休職文官	休職文官	計	計	一	一	二	一	七六	一一二七〇
總計	總計	總計	總計	一	一	二	一	七六	一一二七〇

(備考) 表中×ハ部内武官ヨリ文官ヲ勤務シ其俸給ヲ受クルモノ

明治三十九年十二月三十一日現員

本年十二月三十一日ニ於ケル雇員及備人ノ現員ハ三千八百九十人ニ屬ス
 除ク者ヲニシテ之ヲ前年十二月三十一日ノ現員ニ比照スレハ百十二人ヲ減
 少セリ其職名等ノ細別ハ數十種ノ多キアルヲ以テ之ヲ大別シ給料額ト共
 ニ左表ニ舉示ス

雇員備人

雇員備人	區別	給別	人員	月俸	總計	三三	三三	總計	判任	待遇	總計
雇員備人	區別	給別	人員	月俸	總計	三	三	總計	判任	待遇	總計
十五圓以上	十五圓以上	十五圓以上	三六七	六三七八	三三	三	三三	三三	判任	待遇	總計
十二圓以上	十二圓以上	十二圓以上	三七八	四九一四	二五	二	二五	二五	判任	待遇	總計
十二圓未満	十二圓未満	十二圓未満	八二	八九九	一七	一	一七	一七	判任	待遇	總計
總計	總計	總計	四一七	一一一八〇	一七	一	一七	一七	判任	待遇	總計

明治三十九年十二月三十一日現員

區別	軍人		軍屬	
	官長	士官	候補士官	下士
臺灣總督府	2	1	1	1
大使館附武官	7	1	1	1
外國駐在	1	1	1	1
造船兵監督官	6	1	1	1
各學生	2	1	1	1
帝國大學醫學部醫學研究	1	1	1	1
總計	20	7	7	7
三十八年	20	7	7	7
三十七年	20	7	7	7

(備考) 表中括弧ハ大臣次官事務ヲ示ス。學校委任二十九人ノ内一人ハ本省上長官二十五人ト重複ス而シテ俸給ハ學校ノミニ算ス。*印ハ豫後備役召集者、練トアルハ練習員ヲ示ス。

(二) 艦隊配置人員

明治三十九年十二月三十一日現員

區別	將校		將校相當官		准士官	下士官	卒	通計
	將官	校官	將官	校官				
第一艦隊	1	1	1	1	1	1	1	1
第二艦隊	1	1	1	1	1	1	1	1

區別	將官	校官	將校相當官	准士官	下士官	卒	通計
練習艦隊	1	1	1	1	1	1	1
南清艦隊	1	1	1	1	1	1	1
橫須賀鎮守府各艦	1	1	1	1	1	1	1
吳鎮守府各艦	1	1	1	1	1	1	1
佐世保鎮守府各艦	1	1	1	1	1	1	1
舞鶴鎮守府各艦	1	1	1	1	1	1	1
橫須賀海兵團	1	1	1	1	1	1	1
吳海兵團	1	1	1	1	1	1	1
佐世保海兵團	1	1	1	1	1	1	1
舞鶴海兵團	1	1	1	1	1	1	1
橫須賀水雷團	1	1	1	1	1	1	1
橫須賀敷設隊	1	1	1	1	1	1	1
大湊要港部並敷設隊	1	1	1	1	1	1	1
吳水雷團	1	1	1	1	1	1	1
吳敷設隊	1	1	1	1	1	1	1
各艇隊	1	1	1	1	1	1	1
佐世保水雷團	1	1	1	1	1	1	1
佐世保敷設隊	1	1	1	1	1	1	1
各艇隊	1	1	1	1	1	1	1
竹敷要港部並敷設隊	1	1	1	1	1	1	1
各艇隊	1	1	1	1	1	1	1

區別	將校		將校		相當官		准士官	下士	卒	通計
	官長	候補生	官長	候補生	士官	兵曹長				
馬公要港部敷設隊	1	5								11
舞鶴水雷團	3	5								8
舞鶴敷設隊	4									4
各艇隊	1									1
旅順敷設隊	2									2
鎮海海防備隊	2									2
元山海防備隊	2									2
潛水艇隊	1									1
工作船、運送船	1									1
總計	10	10	2	2	2	2	2	2	2	20
三十七年	10	10	2	2	2	2	2	2	2	20
三十八年	10	10	2	2	2	2	2	2	2	20

(備考) 表中ハ機關總監×ハ豫後備役召集者ヲ示ス

第十一 徵募

明治三十九年度ニ於ケル所要ノ海軍現役兵員ハ三萬六千六百六十人ニシテ之ヲ前年度所要ノ兵員三萬五千六百六十七人ニ比シ九百九十三人ヲ増加シタルハ老朽艦艇ノ除籍アルニ拘ラス新艦及戰利艦艇等増加ノ結果ナリトス而シテ前年度末即チ三十九年三月三十一日ニ於ケル現在現役兵員三萬三千七百七十七人中本年度ニ於テ准士官ニ進級セシムベキ者百三十六人滿期免役トナルベキ者二千五百三人疾病事故免役並ニ死亡ノ者六百七十九人ト豫定シ之ヲ控除スレハ三萬三千九十九人ナルヲ以テ本年度ノ所要兵員三萬六千六百六十人ニ對照スルトキハ差引五千七百六十一人ノ不足トナル是レ本年度ニ於テ新タニ徵募ヲ要スヘキ總數ニシテ其兵種ヲ區別スレハ左ノ如シ而シテ右ノ外看護ノ所要員更ニ増加シタルヲ以テ特ニ定例志願兵徵募ノ際ニ於ケル合格者中採用殘リノ者ヨリ選抜シテ百五人ヲ採用セリ但シ之ニ對スル表示ハ畧ス

三十九年度徵募兵員

水 兵 三千三百七十人

軍樂生	七十九人
木工	九十七人
機關兵	千八百三十一人
看護	百十六人
筆記	九十九人(海軍部内ヨリ任用ス)
主厨	百六十九人
合計	五千七百六十一人

徵兵 明治三十九年度

兵種	横須賀鎮守府		吳鎮守府		佐世保鎮守府		舞鶴鎮守府	
	配當兵	徵兵	配當兵	徵兵	配當兵	徵兵	配當兵	徵兵
水兵	三六七	三六七	四四四	四四四	三三五	三三五	三三五	三三五
木工	一一	一一	八	八	一四	一四	一五	一五
機關兵	三〇五	三〇五	二四七	二四七	一九五	一九五	一六八	一六八
看護	六	六	一三	一三	二八	二八	一〇	一〇
主厨	二六	二六	二〇	二〇	二四	二四	一三	一三
合計	七二五	七二五	七三二	七三二	五九六	五九六	五五九	五五九

志願兵 明治三十九年度

兵種	横須賀鎮守府		吳鎮守府		佐世保鎮守府		舞鶴鎮守府	
	配當兵	募兵	配當兵	募兵	配當兵	募兵	配當兵	募兵
水兵	五〇七	五〇七	五二二	五二二	四〇九	四〇九	四三三	四三三
軍生	二〇	二〇	二〇	二〇	一八	一八	一九	一九
木工	一一	一一	九	九	一四	一四	一五	一五
機關兵	三〇五	三〇五	二四七	二四七	一九五	一九五	一六九	一六九
看護	七	七	一三	一三	二八	二八	一一	一一
主厨	二七	二七	二二	二二	二五	二五	一三	一三
合計	八七七	八七九	八三二	八三二	六八九	六八九	六六一	六六一

以上叙述シタル志願兵ノ徵募ニ係ル各鎮守府兵事官報告ノ志願者員數等ヲ表示スレハ左ノ如シ

第一徵募區	府縣種別	志願者數	疾病事故ノ爲メ検査ヲ受ケザル者	受檢者數	合格數		採用數	受檢者ニ對スル合格者百分比
					甲種	乙種		
横須賀鎮守府	三重縣	七五八	四二	七一六	五四	一〇三	八八	二二・九
愛知縣	愛知縣	一〇四七	三七	一〇一〇	六七	一六二	一〇四	二二・七
東京府	東京府	二六九	一五	二五四	一八	一六二	一一一	二六・〇
山梨縣	山梨縣	二九二	三	二八九	二〇	一八	三〇	一八・三
埼玉縣	埼玉縣	一〇六	四	一〇二	八	一七	一三	二四・五

總計	第四徵募區				志願軍	
	府守鎮鶴舞				府縣種別	
	島根縣	鳥取縣	兵庫縣	京都府	滋賀縣	福井縣
總計	七五〇五	二七二	四四三	九〇	四九〇	六一一
志願者數	二九〇〇四	七五〇五	二七二	四四三	九〇	四九〇
疾病事故ノ受ケザル者	一一三五	三三二	一九	三三	三	五
受檢者數	二七六八九	七一八三	二五三	四二一	八七	四八五
合格者數	三三三三	一一六七	七六	七八	一〇四	二二七
甲種	二七六八九	七一八三	二五三	四二一	八七	四八五
乙種	三三三三	一一六七	七六	七八	一〇四	二二七
計	二七六八九	七一八三	二五三	四二一	八七	四八五
採用數	三〇六〇	六六一	二六	三四	二	六一
受檢者ニ對スル合格者百分比	一一三五	三三二	一九	三三	三	五

以上四鎮守府ノ徵募人員ヲ一總シ其合格者ノ檢丁ニ對スル比例並兵種別職業別體格平均等ヲ表示スレハ左ノ如シ

志願兵檢查表 明治三十九年度

所管	檢丁	合格者		不合格	
		採用	不採用	合格者	不合格者
橫須賀鎮守府	七四八二	八七九	九二九	一八〇八	五六七四
吳鎮守府	六五八一	八三一	九一七	一七四八	四八三三
佐世保鎮守府	六四四三	六八九	五三九	一一三八	四八三三
總計	一九〇〇四	一三三二	二七六八九	三三三三	二七六八九

所管	志願兵合格者職業別						
	農業	商業	工業	鍛冶	船乘	漁業	其他
橫須賀鎮守府	一三四一	七一	七九	一七	一八	三三	二五二
吳鎮守府	一三四五	七五	九七	三〇	六〇	五一	一九四
佐世保鎮守府	九二二	三八	五一	九	二	二七	一七九
舞鶴鎮守府	一三七五	六八	九九	九	二八	四六	二二五
總計	四八七三	二五二	三二六	六五	一一八	一五七	八五〇

志願兵合格者兵種別

所管	總計 <th colspan="7">志願兵合格者兵種別</th>	志願兵合格者兵種別						
		水兵	木工	軍樂生	機關兵	看護	主厨	合計
橫須賀鎮守府	八〇三	三三	四	四五	七六三	四九	一一九	一一八一
吳鎮守府	六六二	五〇	二〇	一八	八四〇	三七	一四三	一七五二
佐世保鎮守府	五二四	四二	一	一	五四五	二八	七一	一一二八
舞鶴鎮守府	七七五	六七	三九	六八	六八八	五六	二二五	一一八〇
總計	二七六四	一九一	二二	一一三	二八三六	一七〇	五五八	六六四一

舞鶴鎮守府	總計	
	檢丁	合格者
舞鶴鎮守府	七一八三	六六一
總計	二七六八九	三〇六〇

志願兵合格者平均體格

所管	人員		身長		體重		胸圍		胸廓擴張		活量		握力	
	以上	以下	(C)	(C)	(C)	(C)	(C)	(C)	(C)	(C)	(C)	(C)	(C)	(C)
橫須賀鎮守府	131	131	168.8	53.4	78.3	27.7	27.0	27.7	27.7	27.7	27.7	27.7	27.7	27.7
吳鎮守府	77	77	167.6	53.0	77.8	27.7	27.0	27.7	27.7	27.7	27.7	27.7	27.7	27.7
佐世保鎮守府	28	28	167.6	53.0	77.8	27.7	27.0	27.7	27.7	27.7	27.7	27.7	27.7	27.7
舞鶴鎮守府	147	147	167.6	53.0	77.8	27.7	27.0	27.7	27.7	27.7	27.7	27.7	27.7	27.7
總計及平均	383	383	167.6	53.0	77.8	27.7	27.0	27.7	27.7	27.7	27.7	27.7	27.7	27.7

第十二 恩給

明治三十九年度ニ於ケル受恩給者ノ總數ヲ舉示スルニ退職恩給ニアリテハ准士官以上ノ年齡滿限ニ因ル者七十一人豫備役ニ因ル者二百十六人服役滿期ニ因ル者四十二人戰時負傷ニ因ル者六人疾病ニ因ル者三人免除恩給ニアリテハ下士卒ノ年齡滿限並ニ豫備役ニ因ル者三千九百五十七人服役滿期ニ因ル者百九十八人戰時負傷ニ因ル者九十七人平時負傷ニ因ル者五十六人疾病ニ因ル者百五十八人ニシテ集計四千八百四人トス又死没ニ因リ其寡婦孤兒及父母等ノ扶助料ヲ受クル者准士官以上ノ横死者十一人平死者二十六人下士卒ノ戰死者十人横死者百六人平死者四十一人ニシテ集計百九十四人此總計四千九百九十八人ヲ以テ明治三十九年度ニ於ケル新給ノ總數トス而シテ本年度ニ於テ退職免除恩給ノ前年度ニ比シテ多キハ前年報ニ於テモ既ニ言及シタル如ク戰役ニ於ケル結果ニシテ從軍年加算者ノ多キニ外ナラストス又從前ノ受恩給者死没ニ因リ其權利ノ消絶スル者四十二人其權利ノ寡婦孤兒及父母等ニ轉移スル者二百二十一人トス之ヲ加除シ本年度末即チ四十年三月三十一日ノ現在員一萬三千七百七十

六人 遺族九千二百四十九人 此年金額百三十四萬九千二百七圓四拾錢八厘之ヲ前年度末ニ對照スレハ人員四千四百三十九人 遺族二千四百八十七人 年金額五十一萬九千八百八十四圓四十六錢五厘ヲ增加セリ尙之ヲ約言スレハ人員ニ於テ十分ノ三・二金額ニ於テ十分ノ三・八ヲ增加スル比例ナリ左ニ既往十年ノ對照ヲ表示シ以テ受給者増加ノ趨勢ヲ知ルノ資ト爲サントス次ニ各種ノ事項ヲ列記シ其狀況ヲ示サン

年度別	現 在		前年度ヨリ増加		増加十分比例		軍人遺族ニ對スル受給者百分比
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	
三十九年度末	一三、七六六	一、三四九、二〇七、二〇八	四、四三九	五〇、九八四、四五五	三・三	三三・〇	三三・〇
三十八年度末	九、三三七	八三八、二二二、七四三	九、七八	九一、三九一、二五〇	一・〇	二二・四	二二・四
三十七年度末	八、三五九	七四六、八三三、四九三	一、七八四	一、五四五、七九一、一〇〇	二・二	二二・一	二二・一
三十六年度末	六、五七五	五九二、二五二、三三三	六、七二	五六、八四四、九八三	一・〇	一九・五	一九・五
三十五年度末	五、九〇三	五三三、四〇〇、七〇〇	五、三八	五二、一四一、〇三三	〇・九	一八・〇	一八・〇
三十四年度末	五、三六五	四八四、二六六、三三七	四、五二	三七、七七八、六〇三	〇・八	一七・六	一七・六
三十三年度末	四、九一三	四四六、四八七、七八四	二、八五	二七、四三〇、〇五〇	〇・六	一七・九	一七・九
三十二年度末	四、六二八	四一九、〇五七、七三四	六、七六	四九、七二四、三三七	一・五	一八・四	一八・四
三十一年度末	三、九五二	三六九、三三三、三三七	五、九八	四三、五六六、六一七	一・五	一九・四	一九・四
三十年度末	三、三五四	三二五、七六六、四三〇	四、五九	三四、四七〇、六七〇	一・四	一七・四	一七・四
平均	六、六一六	六、〇六三、二九一	一、〇八八	一〇、五七九、一四五	一・四	一八・八	二〇・八

明治三十九年度恩給新給並異動

種 別	三十九年度 間				四十年三月末日現員			
	總計	權 利 移 轉	扶 助 料	退 職 免 除	總計	權 利 移 轉	扶 助 料	退 職 免 除
年 齡 滿 限	10	10	10	10	10	10	10	10
豫 備 役	10	10	10	10	10	10	10	10
服 役 滿 期	10	10	10	10	10	10	10	10
戰 時 負 傷	10	10	10	10	10	10	10	10
平 時 負 傷	10	10	10	10	10	10	10	10
疾 病	10	10	10	10	10	10	10	10
計	10	10	10	10	10	10	10	10
戰 死 者	10	10	10	10	10	10	10	10
橫 死 者	10	10	10	10	10	10	10	10
平 死 者	10	10	10	10	10	10	10	10
計	10	10	10	10	10	10	10	10
權 利 移 轉	10	10	10	10	10	10	10	10
總 計	10	10	10	10	10	10	10	10

(備考) 表中資格異動ノ欄年滿兩限豫備役ノ受給者ニシテ召集セラレ其召集解除ノ際恩給額ニ異動ヲ生シタルモノ又明治三十九年法律第二十號附則第一項ニ依リ退職恩給ヲ更正シタルモノニシテ則チ前受給人員及金額ヲ掲ケタルモノナリ又同欄戰時負傷、疾病ハ明治三十九年法律第二十號附則第一項ニ依リ增加恩給ヲ更正シタルモノニシテ則チ前ノ增加恩給人員及金額ヲ掲ケタルモノナリ

前表中ニ就キ更ニ最近五年度受恩給者ヲ對照スレハ左ノ如シ

最近五年度受恩給者對照

種別	恩						人員	金額
	滿服役	役備豫			限滿齡年			
		卒下准	卒下准	上長官、士官	將官、總監	卒下准		
三十九年度	一五	一八三	四二	四、七三	一、二九八	二、六五八	二	三、三〇〇〇〇
三十八年度	一五	一八三	四二	四、七三	一、二九八	二、六五八	二	三、三〇〇〇〇
三十七年度	一五	一八三	四二	四、七三	一、二九八	二、六五八	二	三、三〇〇〇〇
三十六年度	一五	一八三	四二	四、七三	一、二九八	二、六五八	二	三、三〇〇〇〇
三十五年度	一五	一八三	四二	四、七三	一、二九八	二、六五八	二	三、三〇〇〇〇

期	給						人員	金額					
	死	助扶			病疾				傷負時平		傷負時戰		
		計	卒下准	上長官、士官	計	卒下准			上長官、士官	計	卒下准	上長官、士官	
三十九年度	一〇	六	四	一六二	七二	八六	一六	一〇三	五六	四一	六	二四〇	三〇、四六八〇〇
三十八年度	一〇	六	四	一六二	七二	八六	一六	一〇三	五六	四一	六	二四〇	三〇、四六八〇〇
三十七年度	一〇	六	四	一六二	七二	八六	一六	一〇三	五六	四一	六	二四〇	三〇、四六八〇〇
三十六年度	一〇	六	四	一六二	七二	八六	一六	一〇三	五六	四一	六	二四〇	三〇、四六八〇〇
三十五年度	一〇	六	四	一六二	七二	八六	一六	一〇三	五六	四一	六	二四〇	三〇、四六八〇〇

種別	扶助										人員	金額	
	横					平							
	死					死							
	計	卒	下	准	將官、總監	計	卒	下	准	將官、總監			
三十九年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
三十八年度	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
三十七年度	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
三十六年度	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
三十五年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17

以上表示シタル所ハ恩給及扶助料ノミナリシカ其服役年數十一年ニ滿タスシテ給助金又ハ賑恤金ヲ受ケタル者ヲ一表ニ掲上シ左ニ最近五年度ノ

最近五年度賑恤金給助金

對照ヲ示サン

種別	賑恤					給助					人員	金額
	下					上						
	卒					長官、士官						
	計	卒	下	准	將官	計	士	准	上	將官		
三十九年度	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
三十八年度	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
三十七年度	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
三十六年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
三十五年度	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

又官吏恩給法ニ依リ本年度間ニ於テ文官ノ恩給ヲ受クル者四十六人之ヲ區別スレハ疾病免官ニ因ル者三十四人休職滿期ニ因ル者五人六十歳以上ノ爲メ免官スル者三人定員改正ノ爲メ免官者二人廢廳ノ爲メ退官者及公

傷免官者各一人トス其大別左表ノ如シ

文官恩給支給人員金額		官階人員金額
判任	奏任	計
五	四二	四六
三一八七	七九三九	一一二二六

第十三 教育

大 學 校

本年度ニ於ケル本校教育ノ組織ハ前年ヲ繼承シ敢テ異ナル所ナシ茲ニ其學生出入ノ狀況ヲ概叙スルニ本年度首將校科學生甲種二十人乙種十七人選科八人機關科學生甲種二人乙種三人總計五十人本年度間就學シタル者三十四人卒業シタル者三十一人トス其卒業者ハ三十九年七月六日卒業證書授與式ヲ舉行 車駕親臨アラセラレ成績優等者三人ニ賞品ヲ下賜セラレ同時ニ三十六年卒業業者中成績優等者ニモ賞品ヲ下賜セラレタリ

本年度末即チ四十一年三月三十一日就學中ニアルモノハ五十三人トス其異動ヲ區別スレハ左表ニ舉示スルカ如シ

大 學 校 學 生

明治三十九年度

區 別	就 學	本 年	退 學	本 年 度 末 現 員
	甲 種	一	四	
將 校 科 選 種	乙 種	七	一七	二七
	甲 種	一	一	一
計		八	二一	四四

區別	機關科		總計	就學	卒業	退學	本年度末現員
	甲種	乙種					
三十八年度			再入學				
三十七年度			四一				
三十六年度			一八				
三十五年度							
總計	二六二	三三	三三	二七九	三二	四	五〇

兵學校

明治三十九年十二月達第百七十三號ヲ以テ本校規則中ヲ改メ學年ハ三學年ニ分チ毎年九月十一日ニ始マリ翌年九月十日ニ終ルコト、ナル其他教育組織ニ至リテハ敢テ異ナルコトナシ即チ本年度ニ於ケル生徒教育ノ狀況ヲ左ニ叙述セン

第三十四期生徒百七十七人ノ内一人ハ疾病ノ爲メ退校シ百七十五人(内一人ハ疾病ノ爲メ受験ヲ延期シ十一月十六日卒業ス)ノ卒業試験ハ十月十六

日開始シ全月二十七日結了シ全員及第セリ其成績ハ全點ノ百分ノ九十以上ノ優等成績ヲ得タル者十七人ノ多ニ達シ殊ニ落第者ノナキハ近年稀ナル好成绩ヲ示セリ而シテ疾病中ノモノ一人ハ次期即チ第三十五期ニ編入セリ

第三十五期生徒百七十九人ノ内事故ニ因リ退學一人疾病中ノモノ六人ヲ除キ百七十二人ノ大試験ハ十月十六日開始全二十七日終了セリ其百七十一人及第シ中ニ就キ一人ハ品行善良章二人ハ學術優等章ヲ授與セリ此成績ハ全點百分ノ九十以上ヲ得タル者六人平均得點百分比例ハ七九・二九ニシテ是ヲ前年第三十四期生徒ノ成績八二・二二ニ比スレハ稍遜色ヲ呈セリ而シテ落第者一人ハ退校セシメ疾病六人ノ内三人ハ次期ニ編入シ三人ハ臨時試験ヲ經テ十一月二十日及第セリ

第三十六期生徒二百四人ノ内三人ハ疾病ノ爲メ退校シ二百一人ノ大試験ハ十月十六日開始シ全二十七日終了シ全員及第セリ中ニ就キ二人ハ品行善良章及學術優等章ヲ十五人ハ學術優等章ヲ授與セリ本期ハ一般ニ學術品行共ニ優良ニシテ優等者十七人ヲ出シタルカ如キ初學年生徒ニ在テハ類例ナキ好成绩ヲ舉ケタルモノト謂フヘシ而シテ前記ノ外疾病中ノモノ

一人ハ次期ニ編入セリ
 前段卒業者百七十五人ニ對スル卒業證書授與式ハ三十九年十一月十九日
 ヲ以テ舉行シ威仁親王殿下臨場アラセラレ學術優等者三人ニ各賞品ノ下
 賜アリ同日海軍少尉候補生ヲ命シ軍艦嚴島松島橋立ニ分乘セリ又大試験
 ニ及第シタル第三十五期及第三十六期生徒ニハ同月十七日及第證書ヲ授
 與セリ
 本年度ノ生徒志願者總數ハ二千九百七十一人ニシテ入學試験ニ及第シタ
 ル者五百九十五人トス此内百八十人ヲ採用シ外ニ北白川宮輝久王殿下入
 學アラセラレタルヲ以テ入學總數百八十一人ナリ之ニ第三十六期ヨリ編
 入ノ者一人ヲ加ヘ百八十二人ヲ以テ第三十七期生徒トス
 上來叙述シタル所ニ就キ生徒ノ出入ヲ總括表示スレハ左ノ如シ

期別	學年	本 年 度				間	本年度末 日現員	卒業豫期
		卒業	入校	退校	死亡			
第三十四期	三學年	一七五		二		一七五	四十年十一月	
第三十五期	三學年					一七五		

兵學校生徒

明治三十九年度

總計	第三十六期		第三十七期	
	一學年	二學年	一學年	二學年
三十八年度	一七二		一八二	
三十七年度	一九三		二〇二	
三十六年度	一八八		一九三	
三十五年度	一八七		一八〇	
總計	一七五		一八二	
				三
				六
				二
				六
				五
				五六〇
				一八二
				四十二年十一月
				二〇三
				四十年十一月

機關學校

明治三十九年十二月達第百七十四號ヲ以テ本校規則中ヲ改正シ學年ハ三
 學年ニ分チ第一及第二學年ハ毎年九月十一日ニ始マリ翌年九月十日ニ終
 ル第三學年ハ九月十一日ニ始マリ翌年十二月二十日ニ終ルコト、ナル四
 十年一月勅令第二號ヲ以テ本校條例中生徒採用年齢ノ滿二十一ヲ滿二十
 年ニ改メラレ四十一年一月一日ヨリ之ヲ施行スルコト、ナル其他教育ノ
 組織ニ至リテハ敢テ前年ニ異ナル所ナシ即チ本年度ニ於ケル生徒教育ノ
 狀況ヲ左ニ概述セン
 第十五期生徒四十五人ハ本年度ヲ通シ第三學年ニ於テ修學中ニ在リ

第十六期生徒五十五人ノ第二學年試驗ハ三十九年十一月二十八日開始シ十二月十日ヲ以テ終了シ落第者三人ヲ除キ五十二人及第シ内一人ハ學術優等章一人ハ品行善良章ヲ授與セラレタリ其成績ハ總員中總點數ノ百分ノ九十以上ヲ得タルモノ一人其七十以上ヲ得タルモノ四十九人ノ多キニ達シ及第者五十二人ノ平均得點百分比例ハ七九・八九ニシテ全部ノ成績ハ概シテ良好ナルモノトス而シテ其落第者中二人ハ尙ホ一學年ヲ延期シ次期即チ第十七期ニ編入シ一人ハ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキヲ以テ退校セシム

第十七期生徒六十六人中六十四人^{他ノ一人ハ疾病ノ爲メ之ノ第一學年試驗ハ三十九年十一月二十八日開始シ十二月十日ヲ以テ終了シ落第者二人ヲ除キ六十二人及第シ内一人ハ學術優等章及品行善良章ヲ併授シ其成績ハ總員中總點數ノ百分ノ九十以上ヲ得タルモノ一人其七十以上ヲ得タルモノ五十二人ノ多キニ達シ及第者六十二人ノ平均得點百分比例ハ七五・六九ニシテ全部ノ成績ハ概シテ良好トス且之ヲ從來ノ第一學年ノ成績ニ比スルモ亦良好ト云フヲ得ヘシ而シテ病氣ノ爲メ大試驗ニ缺席シタルモノ一人ハ一學年ヲ延期シテ次期即チ第十八期ニ編入シ落第者二人ハ成績不良ニ}

シテ卒業ノ目途ナキヲ以テ退校セシム
 本年召募生徒志願者ハ總數千七百三十九人ニシテ此内體格検査ニ合格シタル者ハ七百十七人尙ホ學術試驗ニ及第シタル者百八十人ニ就キ七十人ヲ撰擇採用シ四十年一月七日ヨリ十二日間ヲ以テ入校セシメ之ヲ第十八期生徒トス
 上來叙述シタル所ニ就キ生徒ノ出入ヲ總括表示スレハ左ノ如シ

機關學校生徒 明治三十九年度

期別	學年	本年					本年度末日現員	卒業豫期
		卒業	入校	退校	死亡	次期編入		
第十五期	三學年						四〇	四十年四月
第十六期	三學年						五二	四十一年四月
第十七期	二學年						六四	四十二年四月
第十八期	一學年						七二	四十三年四月
總計			七〇	四		三	二二二	
三十八年度		三三	六二				一六六	
三十七年度		六二	五三				一三六	
三十六年度		二二	四七				一四六	
三十五年度		三三	四〇				二二六	

軍醫學校

本年度ニ於ケル本校教育狀況ハ前年度ヲ繼承シ敢テ異ナルコトナシ乃チ各學生ノ前年ヨリ就學ノ者二十八人本年度就學ノ者三十人中ニ就キ卒業二十五人退校二人疾病ノ爲メ候死亡一人ニシテ本年度末就學中ノ者三十人トス

三十九年七月六日 天皇陛下海軍大學校へ臨幸アラセラレ卒業證書授與式ノ舉行アリ去ル三十五年、三十六年十二月及本年六月卒業ノ學生五十五人ニ卒業證書ヲ授與シ中ニ就キ學術優等者五人内一人ハ本年卒業ノモノニ賞品ヲ下賜セラレタリ

本年度ニ於テ教授セシ學科目ハ略前年ニ異ナルコトナシ即チ軍醫學學生ニ在テハ軍陣外科學、海軍衛生學、地理病學、病理解剖學、細菌學、衛生試驗法、臨床理化學的検査法、耳鼻咽喉科學、眼科學、齒科實地、英語學、X光線、寫眞術、艦船構造ノ要領、内外科臨床講義ニシテ練習學生ニ在テハ耳鼻咽喉科、眼科、齒科ヲ除キ大要前者ニ同シキモ以上諸科ノ外小外科、食物検査法、武科、端艇燒漕、擔架操法、英獨書講讀等ヲ教授セリ

又實地見學ノ爲メ學生ハ教官指導ノ下ニ大坂地方、横須賀、碓泊軍艦嚴島、八

雲、並ニ海兵團、病院、長濱消毒所、淀橋淨水工場、傳染病研究所、東京醫科大學、陸軍軍醫學校、巢鴨監獄其他ニ派遣シタリ

以上叙述シタル所ニ就キ學生ノ出入ヲ表示スレハ左ノ如シ

軍醫學校學生

明治三十九年度

種別	本年度				本年度末現員
	就學	卒業	退校	死亡	
選科學生	一	一	一	一	一
軍醫學學生	二二	八	二	一	二二
練習學生	一七	一七	二	一	一七
總計	三〇	二五	二	一	三〇
三十八年度	二九	一	一	一	二八
三十七年度	一	一	一	一	一
三十六年度	一三	一	一	一	一
三十五年度	二五	一	一	一	二五

主計官練習所

本年度ニ於ケル本所教育ノ狀況ヲ叙述スルニ前年度ヨリ修學ノ第十期主

計官學生五人待命トナルハ三十九年六月卒業シ第十一期主計官學生二十六人ハ七月就學シ此内二十四人爲一人ハ待命一人ハ疾病ノハ四十年二月卒業シ第八期少主計候補生學生八人ハ三十九年十二月就學シ第一期准士官學生ハ十一月就學シ皆共ニ修學中ニアリ

前年度ヨリ修學中ノ第三期甲種練習生十人ハ三十九年七月卒業シ第四期甲種練習生十三人ハ九月就學シ爲一人ハ成績不長二人ハ疾病ノ七十二人ハ修學中ニアリ第二期丙種練習生七十九人ハ六月就學シ爲二人ハ疾病ノ七十七人ハ十二月卒業シ第三期丙種練習生二十二人四十年二月就學シ尙ホ修學中ニアリ

上來叙述シタル所ニ就キ學生及練習生ノ出入ヲ總括表示スレハ左ノ如シ

主計官練習所學生練習生成績 明治三十九年度

種類	本年度			本年度末現員
	就學	卒業	退學	
主計官學生(第十期)	二	一	一	一
全 候補生學生(第八期)	八	八	一	八
准士官學生(第一期)	一	一	一	一
甲種練習生(第三期)	一	一	一	一

砲術練習所

明治三十九年四月達第五十三號ヲ以テ本所規則中練習生在所人員四百名ヲ八百名ニ改ム其他教育組織ニ至リテハ復前年ニ異ナルコトナシ即チ本年度ニ於ケル教育狀況ヲ左ニ略叙セン

將校學生ノ就學シタルモノ前年度ヨリノ者ヲ合セ百二十人中ニ就キ終業シタル者六十人准士官學生ノ本年就學ノ者十人此内五人終業シ商船學校學生ハ前年度ヨリ就學ノ者ヲ合セ七十人ニシテ皆終業セリ而シテ本年度末日ニ於テ尙ホ練習中ニアルモノハ將校並准士官學生ハ總計六十三人トス

總計	全 丙種練習生(第二期)			全 計
	三十八年度	三十七年度	三十六年度	
一五六	二八	二〇	八八	一五六
二二	一〇	一〇	八八	二二
五	二	五	一	五
五二	一六	五三	五三	五二

練習生ノ前年度ヨリ就學ノ者四百四十一人之ニ本年度就學ノ者ヲ合セ七千四百四十三人トス中ニ就キ疾病其他ノ者ヲ除キ終業シタル者六百九十五人トス本年度未練習中ニアル者ハ六百八十二人ナリ
以上叙述シタルモノヲ一總シテ表示スレハ左ノ如シ

種別	始業年月日	就學終業	終業年月日	記事
第四期將校學生	三十九年一月廿二日	三〇	三〇	三十九年六月六日
第五期將校學生	三十九年六月廿五日	三〇	三〇	三十九年十二月廿日
第六期將校學生	三十九年十二月三日	六〇	六〇	練習中 二人差免
第一期准士官學生	三十九年六月十一日	五	五	三十九年十一月十五日
第二期准士官學生	三十九年十二月十日	五	五	練習中
第二十期商船學校學生	三十九年二月廿六日	二	二	三十九年五月十六日
第二十一期商船學校學生	三十九年五月廿一日	二	二	三十九年七月廿九日
第二十二期商船學校學生	三十九年九月三日	三	三	三十九年十二月廿日

練習生ノ部

種別	前年度就學	本年度就學		本年度終業		疾病其他	本年度末練習中
		下士	卒	下士	卒		
第廿九期教員教程	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	二	五〇
第卅一期教員教程	五一	五一	五一	五一	五一	一	五一
第卅二期教員教程	五二	五二	五二	五二	五二	二	五二
第卅三期教員教程	五三	五三	五三	五三	五三	三	五三
第五十六期掌砲兵教程	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇	七	一六〇
第五十七期掌砲兵教程	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一〇	一八〇
第五十八期掌砲兵教程	一九〇	一九〇	一九〇	一九〇	一九〇	一〇	一九〇
第五十九期掌砲兵教程	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一〇	二〇〇
第六十期掌砲兵教程	二一〇	二一〇	二一〇	二一〇	二一〇	一〇	二一〇
總計	四四一	二二五	六七七	一〇〇二	二二五	六六	六八二

其終業シタル下士卒ニ授與シタル證書及證狀ノ別左ノ如シ

種別	砲術教員適任證書及一等掌砲證狀		一等掌砲證狀		二等掌砲證狀		計
	下士	卒	下士	卒	下士	卒	
第廿九期教員教程	三二	三二	一七	一七	四八	四八	四八
第三十期教員教程	四二	四二	二	二	四六	四六	四六
第三十一期教員教程	五〇	五〇	一	一	四九	四九	四九
第五十六期掌砲兵教程	一六〇	一六〇	一〇	一〇	一七〇	一七〇	一七〇
第五十七期掌砲兵教程	一八〇	一八〇	一〇	一〇	一九〇	一九〇	一九〇
第五十八期掌砲兵教程	一九〇	一九〇	一〇	一〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
第五十九期掌砲兵教程	二〇〇	二〇〇	一〇	一〇	二一〇	二一〇	二一〇
第六十期掌砲兵教程	二一〇	二一〇	一〇	一〇	二二〇	二二〇	二二〇
總計	四四一	四四一	六六	六六	四八八	四八八	四八八

種別	砲術教員適任證書及一等掌砲證書狀		一等掌砲證書狀		二等掌砲證書狀		計
	下士	卒	下士	卒	下士	卒	
第五十七期掌砲兵教程							
第五十八期掌砲兵教程							
第一回證書再授與檢定試験							
第三回證書進等檢定試験							
總計	一三三		九三	四六五	五	一七	七〇三

水雷術練習所

明治三十九年四月達第五十三號ヲ以テ本所規則中練習生在所人員三百名ヲ六百名ニ改メ又達第五十四號ヲ以テ同規則中第三條ヲ改正ス
 其他教育組織ニ至テハ前年ニ異ナルコトナシ即チ本年度教育狀況ヲ左ニ概叙ス
 本年度ニ於ケル各學生及練習生ノ就學總員ハ前年度ヨリ繼續ノモノヲ併セ千三百八十七人中ニ就キ終業シタルモノ八百九十五人トス之ヲ種別スレハ學生並ニ講習生ノ終業シタルモノ百二十人疾病差免等ヲ除キ練習中ニアルモノハ十二人トシ練習生ノ終業シタルモノ七百七十五人疾病其他

ノモノヲ除キ練習中ニアルモノハ四百九人トス本年度末就學中ニ在ルモノハ學生練習生ヲ併セ四百二十一人ナリ即チ其各種ノ成績等ヲ表示スレハ左ノ如シ

學生ノ部

種別	始業年月日	就學	終業	終業年月日	記事
第二期將校學生	廿九年一月十日	三〇	三〇	廿九年七月十三日	差免三人アリ
第三期將校學生	廿九年九月一日	二二	一九	四十年三月二十九日	
第二十六期機關官學生	廿九年三月廿三日	一一	一一	廿九年七月十三日	一人ノ卒業遲延ハ疾病ノ爲メ
第二十七期機關官學生	廿九年九月一日	一一	一一	四十年一月二十六日	
第二十八期機關官學生	廿九年十二月十三日	一五	一四	四十年三月廿九日	差免一、死亡四アリ又卒業期區々ナルハ負傷治療ノ爲メ休課セシニヨル
第三期上等兵曹學生	廿九年一月十日	一〇	一一	廿九年五月廿六日	
第四期上等兵曹學生	廿九年六月十三日	一一	九	廿九年六月廿六日	
第五期上等兵曹學生	廿九年十二月八日	一一	四	四十年一月十三日	八人練習中
第二回無線電信術講習生	廿九年四月五日	二	二	四十年三月廿九日	
第三回無線電信術講習生	廿九年七月廿日	四	二	廿九年七月廿一日	
第四回無線電信術講習生	四十年一月十日	四	一	廿九年十二月十七日	四人練習中
總計		一四〇	一一〇		

練習生ノ部

種別	前年度		本年度就學		本年度終業		次期	前期	疾病	本年度	記事
	入所	下士	卒	計	下士	卒	編入	入ル	其他	練習中	
第二十八期教員教程	三										
第二十九期教員教程	三										
第三十期教員教程	一										
第三十一期教員教程	一										
第三十二期教員教程	一										
第三十三期教員教程	一										
第四十二期掌水雷兵教程	二										
第四十三期掌水雷兵教程	二										
第四十四期掌水雷兵教程	二										
第四十五期掌水雷兵教程	二										
第四十六期掌水雷兵教程	二										
第四十七期掌水雷兵教程	二										
第十三回無線電信術	三										
第十四回無線電信術	三										
第十五回無線電信術	三										
第十六回無線電信術	三										
第十七回無線電信術	三										
計	一〇	三	一〇	三	一〇	三	一〇	三	一〇	三	

一次入所 八人
二次入所 八人
三次入所 八人
四次入所 八人
五次入所 八人
六次入所 八人
七次入所 八人
八次入所 八人
九次入所 八人
十次入所 八人

種別	前年度		本年度就學		本年度終業		次期	前期	疾病	本年度	記事
	入所	下士	卒	計	下士	卒	編入	入ル	其他	練習中	
第十八回無線電信術	六										
第十九回無線電信術	八										
第十六期水雷工教程	二										
第十七期水雷工教程	三										
第十八期水雷工教程	六										
第十九期水雷工教程	六										
第二十期水雷工教程	六										
計	四	一	六	一	六	一	四	一	六	一	

其卒業者及檢定試験ノ結果授與シタル證書證狀ヲ種別スレハ左ノ如シ

種別	前年度		本年度就學		本年度終業		次期	前期	疾病	本年度	記事
	入所	下士	卒	計	下士	卒	編入	入ル	其他	練習中	
第二十八期教員教程練習生	三										
第二十九期教員教程練習生	一										
第三十期教員教程練習生	三										
第三十一期教員教程練習生	一										
第三十二期掌水雷兵教程練習生	一										
第三十三期掌水雷兵教程練習生	一										
第四十四期掌水雷兵教程練習生	一										
第四十五期掌水雷兵教程練習生	一										
計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

種別	水雷術教員適任書 及一等掌水雷證書		雷一等掌水 證書狀		雷二等掌水 證書狀		雷一等工 證書狀		雷二等工 證書狀		計
	下士	卒	下士	卒	下士	卒	下士	卒	下士	卒	
第十六期水雷工教程練習生											
第十七期水雷工教程練習生											
第十八期水雷工教程練習生											
第一回證書證狀再授與檢定試驗											
第二回證書證狀再授與檢定試驗											
第二回證書證狀再授與檢定試驗											
第二回證書證狀再授與檢定試驗											
總計	八二	五	六一	三〇八	八	一〇四	二八	五七	六	二〇	六七三

機關術練習所

明治三十九年四月達第五十三號ヲ以テ本所規則中練習生在所人員三百名ヲ三百五十名ニ改ム其他教育組織ニ至リテハ前年ニ異ナルコトナシ即チ本年度教育狀況ヲ左ニ畧述ス

前年度ヨリ就學ノ第六期機關術教員教程二十人ハ三十九年四月第七期機關術教員教程十六人ハ三十九年六月第十九期機關工術專科六十九人中六十四人本訓練習生ハ初メ前年度ニ於テ就學セルモノハ十六人ナリシカ本年度ニ至リテハ四人就學セルヲ以テ合計六十九人トナリ後疾病ニ依リ五人ヲ免シ六十四人トナレハ四十年三月第二十一期掌機兵教程百人中九十七人他ノ三人ハ疾病ス

ハ三十九年六月第二十二期掌機兵教程九十三人中八十九人ニ依リ四人ハ疾病ス及ヒ第九期船匠工教程十人ハ三十九年十月第十期船匠工教程十人中八人ニ依リ二人ハ疾病スハ四十年一月ヲ以テ執レモ卒業セリ

本年度ノ就學ニ係ル者ノ内第八期機關術教員教程二十人ハ三十九年十月、第九期機關術教員教程十一人中九人他ノ二人ハ疾病ス其ハ三十九年十二月、第十期機關術教員教程十九人中十七人他ノ二人ハ疾病ス其ハ四十年三月、第二十三期掌機兵教程百人中九十七人他ノ三人ハ疾病ス其ハ四十年一月、第二期船匠術教員教程六人中五人ニ依リ一人ハ疾病スハ三十九年七月ヲ以テ卒業シ又第二十四期掌機兵教程八十人中七十六人シノ一人ハ疾病ノ爲メ卒業ヲ延期スハ四十年三月ヲ以テ卒業シタルモ引續キ在所補習セシメタリ而シテ前記第六期第七期第八期第九期第十期ノ各機關術教員教程中其成績ノ優等ナルモノ各期一人ニ對シ賞品ヲ下賜セラレタリ

以上叙述シタル所ノ異動ヲ經テ本年度末練習中ニアル者百九十一人ナリ即チ其成績等ヲ表示スレハ左ノ如シ

機關術練習所練習生成績

明治三十九年度

種別	前年度		本年度		間		本年度末練習中
	就學	卒業	就學	卒業	卒業延期	疾病其他	
第六期 機關術教員教程	二〇	二〇	二〇	二〇	一六	一六	
第七期 機關術教員教程	一六	一六	一六	一六	一〇	一〇	
第八期 機關術教員教程	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	
第九期 機關術教員教程	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	
第十期 機關術教員教程	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	
第十九期 機關工術專科	六六	六六	六六	六六	一七	一七	
第二十期 機關工術專科	九七	九七	九七	九七	六四	六四	
第二十一期 掌機兵教程	九七	九七	九七	九七	一七	一七	
第二十二期 掌機兵教程	九三	九三	九三	九三	一七	一七	
第二十三期 掌機兵教程	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一七	一七	
第二十四期 掌機兵教程	八〇	八〇	八〇	八〇	一七	一七	
第二十四期 卒業補習者	七六	七六	七六	七六	一〇	一〇	
第二期 船匠術教員教程	六	六	六	六	一〇	一〇	
第九期 船匠工教程	〇	〇	〇	〇	一〇	一〇	
第十期 船匠工教程	〇	〇	〇	〇	一〇	一〇	
第十一期 船匠工教程	二	二	二	二	一〇	一〇	
第十二期 船匠工教程	二	二	二	二	一〇	一〇	
總計	三三三	四三三	三二八	四三三	一三三	一三三	一九二

其卒業シタル下士卒ノ得タル證書證狀ノ等級ヲ種別スレハ左ノ如シ

造船工練習所

明治三十九年十二月勅令第三百十一號ヲ以テ本所條例ハ四十年三月三十一日限り之ヲ廢止セラレタリ

本年度ニ於ケル練習職工ノ教育狀況ヲ畧述スルニ前年度ヨリ練習中ニアルモノ三十六人ニシテ本年度就學シタルモノ二十四人卒業シタルモノ三十四人疾病其他ニ因リ退學シタルモノ二十六人トス其種別ハ左ニ表示スルカ如シ

種別	證書	證狀等級		計	内			
		一等	二等		横須賀	吳	佐世保	舞鶴
機關術教員適任證書	八二			八二				
船匠術教員適任證書	五			五				
機關工術專科證書	六四			六四				
掌機證狀	一			一				
船匠工證狀	一	一八	一五	三三	一〇	九	一	一
計	一五一	三六二	一五	五二八	一四八	一三三	一三七	一〇

造船工練習所練習職工

明治三十九年度

區別	以上各學校練習所ニ於ケル本年度ノ經費ハ左表ノ如シ				明治三十九年度諸學校練習所經費現計	
	三十五年	三十六年	三十七年	三十八年	總計	前年度末練習中
將官及總監俸給					三六	
大學校					二二	
兵學校					一六	
機關學校					一六	
軍醫學校					二七	
主計官練習所					二〇	
機關練習所					一七	
砲術練習所					一七	
水雷術練習所					二	
造船工練習所					四	
通計	六四	六五	五〇	三六	三六	本年學卒業退學間學
橫須賀工廠					一九	本年學卒業退學間學
吳工廠					一〇	本年學卒業退學間學
佐世保工廠					二	本年學卒業退學間學
舞鶴工廠					二	本年學卒業退學間學
總計	六四	六五	五〇	三六	三六	本年學卒業退學間學

明治三十九年度諸學校練習所經費現計

以上各學校練習所ニ於ケル本年度ノ經費ハ左表ノ如シ

區別	明治三十九年度諸學校練習所經費現計				明治三十九年度諸學校練習所經費現計	
	三十五年	三十六年	三十七年	三十八年	總計	前年度末練習中
將官及總監俸給					三六	
大學校					二二	
兵學校					一六	
機關學校					一六	
軍醫學校					二七	
主計官練習所					二〇	
機關練習所					一七	
砲術練習所					一七	
水雷術練習所					二	
造船工練習所					四	
通計	六四	六五	五〇	三六	三六	本年學卒業退學間學
橫須賀工廠					一九	本年學卒業退學間學
吳工廠					一〇	本年學卒業退學間學
佐世保工廠					二	本年學卒業退學間學
舞鶴工廠					二	本年學卒業退學間學
總計	六四	六五	五〇	三六	三六	本年學卒業退學間學

區別

將官及總監俸給

大學校

兵學校

機關學校

軍醫學校

主計官練習所

機關練習所

砲術練習所

水雷術練習所

造船工練習所

通計

費 應

外國郵便電信料

學校用品費

通信運搬費

消耗品費

筆紙墨文具費

圖書及印刷費

備用品費

計

給 諸 及 給 俸

賞增技下航卒判下准候奏上

與俸手士海海任士官補任長

與俸加特別加俸給給給給給給

計

計

計

計

計

計

計

計

計

計

附記

商船學校

本校教育ノ事ハ前年度ニ異ル所ナシ茲ニ三十九年度學生ノ出入ヲ叙述スルニ前年度末總員四百二十六人内航海科二百五十五人機關科百七十一人ニシテ其航海科ニ於テ入校五十九人卒業二十八人退校二人死亡六人機關科ニ於テ入校五十八人卒業二十四人退校二人死亡三人トス即チ四十年三月三十一日ノ現在員ハ四百七十八人ナリ其別左ノ如シ

航海科

二百七十八人

機關科

二百人

其學生ノ實地練習ハ前年度ヨリ繼續シ横須賀海軍工廠ニ於テ修業シタル二十一人並實習ノ爲メ來學シタル者十三人修業證書ヲ得テ退場シタルモノ十人ニシテ本年度末尙修業中ニアル者二十四人トス吳海軍工廠工場ニ於テ修業シタル者二十五人並實習ノ爲メ來學シタル者七人修業證書ヲ得テ退場シタル者八人中途退學シタル者九人ニシテ本年度末尙修業中ニアル者十五人トス佐世保海軍工廠工場ニ於テ實習トシテ來學シタル者五人修業證書ヲ得テ退場シタル者二人ニシテ本年度末尙修業中ニアル者三人

トス其他舞鶴海軍工廠ニ於テハ修學シタル者ナシ

海兵團

明治三十九年度間横須賀吳佐世保舞鶴四海兵團ニ於ケル練習兵ノ狀況ヲ略叙スルニ前年度ヨリ就教ノ者四千六百五十三人之ニ本年度就教ノ者五千九百九十九人ヲ併セ總計一萬六百五十二人ヲ以テ本年度練習ノ總員トス中ニ就キ卒業シタル者七千七百八十二人免役死亡其他ニ因ル者百十人ニシテ本年度末尙練習中ニ在ル者二千七百六十人トス其兵種ノ成績ハ左ニ表示スルカ如シ

海兵團練習兵成績

明治三十九年度

所管	兵種	前年度	本年度	計	本年度間		四十年三月末日練習中
		就教	就教		卒業	免役死亡	
横須賀	水兵	七九三	八七四	一六六七	一三〇五	二二	三三〇
須賀	機關兵	四五四	六三九	一〇九三	七五八	一	三三五
海軍	木工	八	二二	三〇	一九	一	一一
兵衛	看護	一	三〇	三一	三〇	一	二
團	主厨	五五	五〇	一〇五	八〇	二	二三

兵種	年次									
	廿九年	廿八年	廿七年	廿六年	廿五年	廿四年	廿三年	廿二年	廿一年	三十年
五等看護	二六〇	八四	四五	六	四一	二二七	一〇四	九六	五四	一〇三
五等主厨	三二一	三三三	二二二	一四三	一五九	一四七	一八〇	二二七	一七二	一七二
軍樂高等科練習生	三三	一四	三三	一	一七	三六	一八〇	一〇	一〇	三
軍樂普通科練習生	三三	一四	三三	一	一七	三六	一八〇	一〇	一〇	三
軍樂特科練習生										
五等軍樂生										
五等信號兵										
信號練習生	三三三	一七八	二二七	一三五	一四七	六二	三九三	五一	六四	四〇
筆記		三五	一六			二八				
總計	七、七九二	七、四一	四、二四一	五、三六六	四、九一〇	四、七四三	五、〇九二	三、六五三	三、八五二	三、七〇六

第十四 患者

明治三十九年ノ海軍患者實數ハ通計二萬八千三百六十一人トス之ヲ前年ノ三萬二千三百三十八人ニ比照スレハ三千九百七十七人ヲ減シ隨テ新患者ニ於テモ亦三千七百六十人ヲ減セリ是レ本年ニ於テハ前年ト異リ全然平時ニ復シタルヲ以テ蓋シ此減少ヲ呈スル所以ナリ又兵員每千一日患者比例ハ艦船三五・三四横須賀鎮守府七三・七八吳鎮守府一一・五・六三佐世保鎮守府九七・一三舞鶴鎮守府九三・二二旅順鎮守府五一・七一兵學校五六・一三機關學校三七・五五其他四三・五四總計平均五九・五二トス之ヲ前年ノ五〇・四二ニ比スレハ却テ九・一〇ヲ増セリ而シテ其患者委詳ノ狀況ニ至テハ別ニ海軍省醫務局第二十一次報告アルヲ以テ茲ニ贅セス乃チ前年ニ亞キ左ニ新患者累年ノ對照表ヲ舉示ス

年次	兵員		新患	前年比	兵員每千一日患者比例	死亡	兵員千二付死亡比例
	一日平均	増減					
三十九年	三、七三、八五	減	二、六、八五、六	三、七、六〇	五、九、五二	二、七、一	七、二、五
三十八年	三、九、九、七九	減	三、〇、六、一、六	二、四、三、〇	五、四、四三	六、三、五	一、五、八、八
三十七年	三、七、一、八三	増	三、三、三、〇、四、六	五、六、六、七	五、七、七、一	一、八、三、〇	四、九、二、二

年次	三十九年	四十年	四十一年	四十二年	四十三年	四十四年	四十五年	四十六年	平均
兵員	31,583	30,445	26,469	23,297	19,540	18,426	14,964	27,927	27,927
新患	27,379	24,305	23,553	21,697	19,335	19,298	11,706	23,791	23,791
前比	30.7%	7.5%	1.8%	2.3%	3.7%	7.5%	6.5%	6.0%	6.0%
患者比	61.0%	55.8%	60.5%	63.0%	68.0%	65.5%	55.8%	60.1%	60.1%
死亡	1,590	1,540	1,336	1,077	1,181	1,229	1,033	3,642	3,642
死亡比	5.0%	5.0%	5.1%	4.7%	5.7%	6.5%	6.8%	13.0%	13.0%

(備考) 死亡中三十一人ハ宮川丸ノ溺死者(十一人)三十三人ハ戦死者(十二人)三十七人ハ戦死者(千六百六十二人)三十八人ハ戦死者(百十九人)三笠火災ノ際死亡者(三百四十九人)ヲ包含ス而シテ死亡中ニハ新舊患者ノ別ナク總テ之ヲ掲上セリ

此ヨリ横須賀、吳、佐世保舞鶴ノ四軍港及旅順ニ在ル病院並病院職員ヲ掲ケ次ニ各患者ニ係ル所轄別、兵種別、傳染病兵種別、傳染病月別等ノ諸表ヲ列舉シ以テ各種ノ狀況ヲ示サン

海軍病院 明治廿九年十二月三十一日現數

病院名	棟數	坪數		病室數	病室容積	收容患者
		二階	平房			
横須賀海軍病院	七	1,130.00	948.250	35	28,393.400	290
吳海軍病院	七	690.610	809.838	43	39,532.520	210
佐世保海軍病院	八	433.250	542.294	56	39,895.049	204
舞鶴海軍病院	五	338.922	382.371	36	31,874.568	135
旅順海軍病院	七	334.285	1,542.665	49	26,360.260	45
總計	34	1,890.57	4,235.518	219	147,372.699	884

病院官員及備		明治三十九年十二月三十一日現員	
官	職	海軍病院	佐世保海軍病院
軍醫總監	海軍病院	1	1
軍醫大監	海軍病院	1	1
軍醫中監	海軍病院	1	1
軍醫少監	海軍病院	1	1
藥劑中監	海軍病院	1	1
藥劑少監	海軍病院	1	1
大藥劑士	海軍病院	1	1
大藥劑士	海軍病院	1	1
中藥劑士	海軍病院	1	1
官	職	横須賀海軍病院	吳海軍病院
軍醫總監	海軍病院	1	1
軍醫大監	海軍病院	1	1
軍醫中監	海軍病院	1	1
軍醫少監	海軍病院	1	1
藥劑中監	海軍病院	1	1
藥劑少監	海軍病院	1	1
大藥劑士	海軍病院	1	1
中藥劑士	海軍病院	1	1
總計		3	3

所轄別	平均一日患者	舊患		新患		合計		平均一日患者	兵員每千 一日患者 比	治愈	事故 死亡 免除	帶患 轉轄	殘留
		院外	院內	院外	院內	院外	院內						
姉川	17	3	1	4	5	7	10	1.1	100	1	1	1	1
韓崎	30	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
山彦	5	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
大成丸	5	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第一驅逐隊	29	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第二驅逐隊	23	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第三驅逐隊	10	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第四驅逐隊	19	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第五驅逐隊	21	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第六驅逐隊	19	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第八驅逐隊	17	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第九驅逐隊	20	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第十驅逐隊	20	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第十一驅逐隊	21	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第十三驅逐隊	22	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第十四驅逐隊	23	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第十七艇隊	7	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第十八艇隊	7	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第一潛水艇隊	6	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
第二潛水艇隊	6	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1

所轄別	平均一日患者	舊患		新患		合計		平均一日患者	兵員每千 一日患者 比	治愈	事故 死亡 免除	帶患 轉轄	殘留
		院外	院內	院外	院內	院外	院內						
三十號水雷艇	1	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
工作船關東丸	1	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
橫須賀海兵團	27	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
橫須賀港務部	8	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
橫須賀豫備艦部	3	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
橫須賀海軍病院	6	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
砲術練習所	7	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
水雷術練習所	6	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
機關術練習所	3	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
橫須賀水雷團	6	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
大湊要港部	3	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
橫須賀海軍監獄	8	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
吳海兵團	20	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
吳港務部	4	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
吳豫備艦部	5	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
吳海軍病院	6	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
吳水雷團	5	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
吳海軍監獄	6	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
海軍煉炭製造所	5	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
佐世保海兵團	10	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
佐世保港務部	2	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1
佐世保豫備艦部	2	1	1	2	2	3	3	1.3	100	1	1	1	1

病類	舊患		新患		合計	受療日數	平均一日患者	兵員每千一日患者比	事故	死亡	免除	院外	院內
	院外	院內	院外	院內									
總計	六三〇	八八〇	二二八	三三〇	一〇五八	三三〇	三三〇	三三〇	一	一	一	八	一
外被	一〇	一〇	一〇	一〇	四〇	四〇	四〇	四〇	一	一	一	一	一
運動器	二	二	二	二	八	八	八	八	一	一	一	一	一
外傷	九	九	九	九	三六	三六	三六	三六	一	一	一	一	一
爾餘ノ傷病	一	一	一	一	四	四	四	四	一	一	一	一	一

患者兵種別 明治三十九年

兵員	平均		舊患		新患		合計		平均一日患者	兵員每千一日患者比	事故	死亡	免除	院外	院內
	兵員	平均	院外	院內	院外	院內	院外	院內							
總計	三七八	一〇	六三〇	八八〇	二二八	三三〇	一〇五八	三三〇	三三〇	一	一	一	八	一	
生徒	七二八	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	四〇	四〇	四〇	一	一	一	一	一	
下士	七二八	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	四〇	四〇	四〇	一	一	一	一	一	
卒	七二八	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	四〇	四〇	四〇	一	一	一	一	一	
備人	七二八	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	四〇	四〇	四〇	一	一	一	一	一	
囚人	七二八	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	四〇	四〇	四〇	一	一	一	一	一	

(備考) 本表ノ患者數ト患者所轄別表及患者病類別表ノ各患者數ト差異アルハ患者所轄別表ニ在テハ受療中所轄ヲ轉スル者ヲ更ニ一人トシテ掲グルヲ以テ一患者ニシテ二人或ハ三人トナルニ由リ其數ヲ増加シ患者病類別表ニ在テハ甲病ヨリ乙病ニ轉スル者ヲ

二人トシテ掲グルヲ以テ同シク其數ヲ増加セリ又本表ノ新患者數ト次ノ二表ノ患者數ト差異アルハ次ノ二表ニ在テハ患者病類別表ノ如ク甲病ヨリ乙病ニ轉スル者ヲ二人トシテ掲グルニ由ル

患者病類兵種別 明治三十九年

病類	生徒		下士		卒		備人		囚人		合計	
	生徒	下士	卒	備人	囚人	合計	生徒	下士	卒	備人		囚人
全身	四	二二七	一、二二〇	三〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇
神經系	九	一三三	二七〇	二	二七〇	二七〇	二七〇	二七〇	二七〇	二七〇	二七〇	二七〇
呼吸器	四	三七二	一、八七三	一	一、八七三	一、八七三	一、八七三	一、八七三	一、八七三	一、八七三	一、八七三	一、八七三
循環器	二	四三	一、六六	一	一、六六	一、六六	一、六六	一、六六	一、六六	一、六六	一、六六	一、六六
榮養器	三	三三三	四、四一八	一	四、四一八	四、四一八	四、四一八	四、四一八	四、四一八	四、四一八	四、四一八	四、四一八
泌尿器及生殖器	一	八二	三、五八	一	三、五八	三、五八	三、五八	三、五八	三、五八	三、五八	三、五八	三、五八
花柳	一	七三一	五、七一〇	一	五、七一〇	五、七一〇	五、七一〇	五、七一〇	五、七一〇	五、七一〇	五、七一〇	五、七一〇
眼病及外傷	一	二二	八二七	一	八二七	八二七	八二七	八二七	八二七	八二七	八二七	八二七
耳病及外傷	五	五七	三、四九	一	三、四九	三、四九	三、四九	三、四九	三、四九	三、四九	三、四九	三、四九
外傷	七	三〇三	二、九四五	一	二、九四五	二、九四五	二、九四五	二、九四五	二、九四五	二、九四五	二、九四五	二、九四五
運動器	一〇	三〇三	二、九四五	一	二、九四五	二、九四五	二、九四五	二、九四五	二、九四五	二、九四五	二、九四五	二、九四五
外傷	一〇	六二	二、九四五	一	二、九四五	二、九四五	二、九四五	二、九四五	二、九四五	二、九四五	二、九四五	二、九四五
爾餘ノ傷病	一	一七三	七、八九	一	七、八九	七、八九	七、八九	七、八九	七、八九	七、八九	七、八九	七、八九
總計	七三九	三、六〇九	一、二二〇	三〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇